

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	中小企業論Ⅱ BE-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Theory of Small Business II
担当教員 Instructor	金澤 昭人
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は、40年間勤務した行政機関において一貫して中小企業の指導・支援に、あらゆるテーマに直接かかわってきた経験を有します。 その実務経験にもとづき得られた理論や手法、知識をわかりやすく学術的に、さらに1の内容をよりマクロ的な内容で講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	日本の経済で大きな役割を担っているのが中小企業であり、会社数で9割以上、就労人口で約7割を占めるとも言われています。ただし、中小企業は大企業に比べ、ヒト・モノ・カネの経営資源が乏しく、大企業とは異なる戦略や知恵と工夫により生き残り、経済社会に貢献しています。本講座では、規模、業種、業態など日本における様々な中小企業の現状およびその取り巻く社会環境などを理解することにより、その魅力と問題点などを解明し、これから経済社会にどう貢献していくべきかなどを学びます。							
【到達目標】 Course Objectives	中小企業に関する基礎的な用語や知識を習得することにより、日本の経済を支える中小企業というものの実態を理解し学んでいけるようになること（第1段階） 中小企業を取り巻くどのような社会的環境であるのかを習得することにより、中小企業がどのように維持できてきたのかを理解し学んでいけるようになること（第2段階） 中小企業の経営を維持するのにその抱える問題にどのように向き合っているかを理解し、また将来どのように向き合っていけばよいのかを考えられるようになること（第3段階）							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	日本の経済に将来かかわっていくうえで、中小企業というものを理解することは重要であると認識を持っている人。 将来企業経営を目指す人または中小企業で働いていこうと考えている人。							
【教育方法】 Teaching Method	授業は、基本的には使用するテキストに沿って進めながらも、実際の中小企業の現場の話を盛りだくさんに紹介していくことにより、日本の中小企業とその経営の実態をより深く解明していこうと思います。 基本中小企業論ⅠとⅡの通年での実施となりますが、単独でも理解できるよう工夫して進めていきます。 また、前期に学んだ内容であっても、よりマクロ的に展開したものにして実施したいと思います。							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	関 知宏（編集）多数（著） 「よくわかる 中小企業」 ミネルヴァ書房 2020年							
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control	☐	思考力 ability to think	☐	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	☐
	協働力 ability to cooperate	☐	主張力 assertiveness		創造力 creativity			

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	中小企業に関する基礎的な用語や知識を習得しているかを評価する	30	各テーマごとに講義中の回答、小テスト、小演習、論述試験等により総合的に評価を行う。		
	中小企業経営に関する基礎的な用語や知識を習得しているかを評価する	30			
	中小企業が抱える問題がどのようなものがあるかまたどのように向き合っているのかを習得しているかを評価する	40			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	特になし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	ガイダンス 前期授業の復習	中小企業の本質を知る 中小企業の歴史を知る 中小企業政策を知る 中小企業経営を知る 中小企業労働の実態を知る 中小企業金融の実態を知る 中小企業の情報化を知る 下請け中小企業を知る 中小企業のネットワークを知る		
		【予習内容】 Preparation	テキスト2～107	120	分
		【復習内容】 Review	テキスト2～107	120	分
		No2	中小製造企業を知る 1	製造分野における中小企業 大企業の生産体制と中小企業 ものづくり中小企業の生産性向上の取り組み	
	【予習内容】 Preparation		テキスト108～113	120	分
	【復習内容】 Review		テキスト108～113	120	分
	No3		中小製造企業を知る 2	大企業の調達革新と中小企業の対応 中小企業とタイミング・コントローラー 町工場の存立と操業環境	
		【予習内容】 Preparation	テキスト114～119	120	分
		【復習内容】 Review	テキスト114～119	120	分
		No4	中小商業・サービス企業を知る 1	商業分野における中小企業 商店街の現状と役割 大規模店舗の出店の影響 日本の商習慣と流通制度 チェーン店と中小企業	
	【予習内容】 Preparation		テキスト120～129	120	分
	【復習内容】 Review		テキスト120～129	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	中小商業・サービス企業を知る 2	チェーン店と中小企業 サービス業における中小企業：生活衛生関連業種のケース 観光産業と中小企業		
	【予習内容】 Preparation	テキスト128～132	120	分
	【復習内容】 Review	テキスト128～132	120	分
	No6	地域中小企業を知る	地域における中小企業 地域における企業集積 地域開発と中小企業 地場産業と伝統的工芸品 企業城下町と地域社会 地方創成と中小企業	
		【予習内容】 Preparation	テキスト134～151	120 分
		【復習内容】 Review	テキスト134～151	120 分
	No7	中小企業の海外展開を知る	中小企業の国際化とグローバル化 国際化のプロセスと中小企業 中小企業の輸出入 中小企業の海外直接投資 中小企業のグローバル化と人的資源 中小企業の海外展開支援	
		【予習内容】 Preparation	テキスト152～163	120 分
		【復習内容】 Review	テキスト152～163	120 分
	No8	中小企業のイノベーションを知る	中小企業のイノベーション／経営革新 イノベーションのタイプと中小企業 中小企業の研究開発	
		【予習内容】 Preparation	テキスト164～171	120 分
		【復習内容】 Review	テキスト164～171	120 分
	No9	中小ベンチャー企業を知る	ベンチャー企業とは ベンチャー・ブーム ベンチャー企業のタイプと実態 アントレプレナーとアントレプレナーシップ ベンチャー企業の経営 ベンチャー企業への支援 ベンチャー向けファンド	
		【予習内容】 Preparation	テキスト172～185	120 分
		【復習内容】 Review	テキスト172～185	120 分
	No10	中小企業研究を知る	中小企業の研究方法 中小企業の関連の学会 中小企業の研究ジャーナル	
		【予習内容】 Preparation	テキスト186～191	120 分
		【復習内容】 Review	テキスト186～191	120 分

	No11	中小企業の財務 1	中小企業の財務データの見方 中小企業の財務データの活用（決算書の見方（上級編））		
		【予習内容】 Preparation	事前に資料配布のうえ問題について考えてくる	120	分
		【復習内容】 Review	事前配布資料による間違えた点の復習	120	分
	No12	中小企業の財務 2	財務分析（生産性、収益性、健全性の観点から企業の財務状況を判断するための手法を学ぶ）		
		【予習内容】 Preparation	事前に資料配布のうえ問題について考えてくる	120	分
		【復習内容】 Review	事前配布資料による間違えた点の復習	120	分
	No13	中小企業の財務 3	各種経営資料の作成法 経営計画表の作成 返済表の作成		
		【予習内容】 Preparation	事前に資料配布のうえ問題について考えてくる	120	分
		【復習内容】 Review	事前配布資料による間違えた点の復習	120	分
	No14	まとめ	今まで一年間の授業の総括・学習達成度の確認を行い、授業内容をとおして、中小企業の将来に向けた在り方・展望を考える		
		【予習内容】 Preparation	今までの講義内容を再確認する	120	分
		【復習内容】 Review	今までの講義内容を再確認する	120	分

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	授業への貢献と演習課題	50%	所定の回数以上出席した者について本試験の得点により評価を行う。 授業への積極的な参加等、貢献の大きい者は加点することがある。		
	学期末に実施する本試験	50%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	特になし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	オリエンテーション	この科目の概要とリスクマネジメントを学ぶことの意義、またリスクマネジメントがどのように意思決定に効果を発揮するかについて理解する		
		【予習内容】 Preparation	身の回りで「リスク」という言葉を耳にした経験を思い起こし、どんな内容だったかを整理しておく	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No2	リスクの予測	どんなリスクがあるか予測する		
		【予習内容】 Preparation	交差点やスポーツなど、身の回りでリスクがありそうな場面を想定し、どんなリスクがあるかを考える	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No3	リスクの見きわめ	リスクとダメージ、発生確率について学び、対策の優先順位を考える		
		【予習内容】 Preparation	対策すべき重要なリスクとはどういうものか、考えてみる	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No4	リスクの対策	リスク対策の方法について学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	身の回りのリスクにどう対策できるか考えてみる	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	演習	仮想ケースについてリスク対策を考えてみる		
	【予習内容】 Preparation	これまで学んだ内容を復習しておく	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
No6	リスクマネジメントの目的	リスクマネジメントの意義について学ぶ		
	【予習内容】 Preparation	リスクをマネージするとはどういうことか、マネージできたらどんなメリットがあるかを考えておく	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
No7	情報の収集と選択	意思決定のために必要な情報とその収集・選択		
	【予習内容】 Preparation	ものごとを判断するために必要となる情報とはどういうものか、考えておく	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
No8	不確実な状況での判断	メリットとデメリットの比較		
	【予習内容】 Preparation	メリットとデメリットの比較とはどういうことか、考えておく	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
No9	合理的判断と感情	先入観による認知のバイアスやアンカリングなどのヒューリスティクスについて学ぶ		
	【予習内容】 Preparation	意思決定に人間の認知のバイアスが影響するとはどういうことなのか、調べておく	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
No10	リスクマネジメントと合理的意思決定	リスクをマネージして未来を切り拓く		
	【予習内容】 Preparation	リスクを低減できた場合にチャレンジの幅が広がるかどうか、考えてみる	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分

	No11	演習	架空のケースについてメリットとデメリットの比較による意思決定を行う		
		【予習内容】 Preparation	これまでの学習内容を復習しておく	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No12	模擬交渉準備	役割シートをもとに交渉をどう進めるか考える		
		【予習内容】 Preparation	交渉とはどんなことなのか調べてみる	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No13	模擬交渉	役割シートをもとに受講生間で模擬交渉を行い、自らが交渉中にどのように判断したかを振り返る		
		【予習内容】 Preparation	先週の準備内容をよく理解しておく	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No14	まとめ	これまでの授業で学んだことを総括し、学習目標が達成できているかどうかを自己評価する		
		【予習内容】 Preparation	これまでの授業内容を振り返っておく	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2年
講義名 Name of Subject	リスク・マネジメント BE-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Risk Management
担当教員 Instructor	三好 陽介
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	大手電機メーカーおよび食品メーカーの知的財産部門にて種々の交渉や訴訟対応の経験を豊富に有し現在は起業経営を行っている教員が担当する。意思決定の基本とメリット/デメリットの比較におけるリスクの想定や対策について、演習とディスカッションにより実践的な能力向上を行う。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	ビジネスを進める際には、さまざまな場面で適切な意思決定が求められます。この授業は、リスクマネジメントを実践するために必要な、適切な意思決定を行うための基礎知識の習得と理解を目的としています。 具体的には、意思決定の根幹である「判断」について、論理の側面から1)情報の収集と選別 2)リスクと現在価値 3)推定を、また心理の側面から1)合理的決定と感情 2)期待とバイアス 3)信頼、等のテーマを取り上げます。講義のほか実際のビジネスシーンをもとにしたゲーム形式の簡単な演習を行い、意思決定の実践方法を学ぶことができます。																						
【到達目標】 Course Objectives	1)リスクマネジメントについての理解 講義内容を理解し、リスクマネジメントについての基本的知識を習得したかどうか、講義中の質疑レポートおよび期末試験によって、客観的に評価する。 2)合理的判断のための情報処理と推定についての理解 講義内容を理解し、合理的判断のための手法についての基本的知識を習得したかどうか、講義中の質疑レポートおよび期末試験によって、客観的に評価する。 3)判断に対する感情の影響についての理解 講義内容を理解し、判断に対する感情の影響についての基本的知識を習得したかどうか、講義中の質疑レポートおよび期末試験によって、客観的に評価する。																						
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	履修条件：特になし 受講推奨者：将来的に自らものごとを判断・決定する立場につくことを志向する方																						
【教育方法】 Teaching Method	授業の前半に講義を行い、後半は講義内容に即した演習を行う 単元を終了したタイミングで、論述演習や模擬交渉演習を行う																						
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	使用せず																						
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td></td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td></td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td>○</td><td>主張力 assertiveness</td><td>○</td><td>創造力 creativity</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>							自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance																	
協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○																		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	授業への貢献と演習課題	50%	所定の回数以上出席した者について本試験の得点により評価を行う。 授業への積極的な参加等、貢献の大きい者は加点することがある。		
	学期末に実施する本試験	50%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	特になし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	オリエンテーション	この科目の概要とリスクマネジメントを学ぶことの意義、またリスクマネジメントがどのように意思決定に効果を発揮するかについて理解する		
		【予習内容】 Preparation	身の回りで「リスク」という言葉を耳にした経験を思い起こし、どんな内容だったかを整理しておく	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No2	リスクの予測	どんなリスクがあるか予測する		
		【予習内容】 Preparation	交差点やスポーツなど、身の回りでリスクがありそうな場面を想定し、どんなリスクがあるかを考える	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No3	リスクの見きわめ	リスクとダメージ、発生確率について学び、対策の優先順位を考える		
		【予習内容】 Preparation	対策すべき重要なリスクとはどういうものか、考えてみる	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No4	リスクの対策	リスク対策の方法について学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	身の回りのリスクにどう対策できるか考えてみる	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	演習	仮想ケースについてリスク対策を考えてみる		
	【予習内容】 Preparation	これまで学んだ内容を復習しておく	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No6	リスクマネジメントの目的	リスクマネジメントの意義について学ぶ	
		【予習内容】 Preparation	リスクをマネージするとはどういうことか、マネージできたらどんなメリットがあるかを考えておく	120分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120分
		情報の収集と選択	意思決定のために必要な情報とその収集・選択	
	No7	【予習内容】 Preparation	ものごとを判断するために必要となる情報とはどういうものか、考えておく	120分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120分
		不確実な状況での判断	メリットとデメリットの比較	
	No8	【予習内容】 Preparation	メリットとデメリットの比較とはどういうことか、考えておく	120分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120分
		合理的判断と感情	先入観による認知のバイアスやアンカリングなどのヒューリスティクスについて学ぶ	
	No9	【予習内容】 Preparation	意思決定に人間の認知のバイアスが影響するとはどういうことなのか、調べておく	120分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120分
		リスクマネジメントと合理的意思決定	リスクをマネージして未来を切り拓く	
No10	No10	【予習内容】 Preparation	リスクを低減できた場合にチャレンジの幅が広がるかどうか、考えてみる	120分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120分

	No11	演習	架空のケースについてメリットとデメリットの比較による意思決定を行う		
		【予習内容】 Preparation	これまでの学習内容を復習しておく	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No12	模擬交渉準備	役割シートをもとに交渉をどう進めるか考える		
		【予習内容】 Preparation	交渉とはどんなことなのか調べてみる	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No13	模擬交渉	役割シートをもとに受講生間で模擬交渉を行い、自らが交渉中にどのように判断したかを振り返る		
		【予習内容】 Preparation	先週の準備内容をよく理解しておく	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No14	まとめ	これまでの授業で学んだことを総括し、学習目標が達成できているかどうかを自己評価する		
		【予習内容】 Preparation	これまでの授業内容を振り返っておく	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	「ブランド」を経営戦略の視点から説明できる	30%	およそ70%以上の出席を条件に、本試験、ミニレポート、受講中の口頭試問等で評価		
	ブランド管理とブランディングの手法を説明できる	30%			
	企業のブランド課題を抽出し、改善提案を示すことができる	40%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	講義資料の内容だけでなく、自分なりに事例を調べるなど、能動的な受講態度が望まれる。 毎回授業終了後に、「受講ミニレポート」を提出していただきます。 ここに書かれた内容も成績に反映されますので、そのつもりで記述してください。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	ブランドの定義と機能	「ブランド」とは、顧客が価値を感じる記号のことであり、商品・企業名・技術名・素材名・人名…など幅広い対象を指します。 まず、中世に「製品の出所」であったブランドが、今日では多様な意味合いを持ってきたことを歴史的変遷から理解します。 また、ブランドの①安定・プレミアム価格を実現する機能、②固有の無形財産をつくる機能、③消費者の商品選択を助成する機能について学んでいきます。最後に、中小企業の経営課題解決に向けてのブランド戦略を考察します。		
		【予習内容】 Preparation	シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する	150	分
		【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No2	ブランド戦略の考え方	ブランド戦略の基本であるブランド強化、リポジショニング、ブランド変更、ブランド開発について、アサヒビールの事例から学びます。次に、ブランド管理の13の手法として①ブランドの階層化②企業ブランドと商品ブランド③ファミリーブランド④マスターブランド⑤ダブルブランド⑥マルチブランド⑦コアブランド⑧エンドーサーブランド⑨技術ブランド⑩アウト・オブブランド⑪提携ブランド⑫ナショナルブランドとプライベートブランド⑬地域ブランドについて理解します。		
		【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No3	ブランディングについて	ブランドは作成すれば終わりではなく、価値を高めていくブランディング施策が不可欠です。本講義では、ブランディングの手法として、①名称やロゴマークの変更、②ブランド表現要素の見直し、③ブランドエピソードの発掘、④ブランドシンボルの開発、⑤トップ広報、⑥ブランド広告、⑦ブランド体験施設、⑧顧客参加について理解します。シンボリックなマネジメントの重要性と、今日の状況においては顧客とともにブランドを創造・発展させていく姿勢の重要性を学びます。		
		【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No4	ネーミングと商標	ブランド名称の開発と管理、その浸透策について考察します。 まず、さまざまな企業名の由来を3つの観点から考えます。次にブランド管理の視点から、名称体系、ネーミング機会、名称開発のプロセス、決定のチェックポイントなどを、さらにブランディングの視点から、音の響き型、機能性優先型、クロスカルチャー・メジャーメント(異文化測定)、ネーミングライツ、ブランド名の動詞化などの事例を学びます。 最後に商標登録と商標管理についてのポイントを理解します。		
		【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	ロゴタイプとシンボルマーク	ロゴマークは無形固定資産の一種であり、視覚的な視覚的な統合戦略と管理(ビジュアル・アイデンティティ=VI)が不可欠です。 一方、ロゴマークのデザインには企業の思いやビジョン、哲学が込められており、メッセージ性が求められます。 講義の後半では、経営戦略とロゴマークについて、花王、キリン、ユニリーバ、ZARAなどの事例から考えていきます。 また最近のロゴマークの傾向として、6つのトレンドを見ていきます。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	企業理念とブランドステートメント	企業理念と、それを顧客向けに示すブランドステートメント(スローガン)の重要性について学びます。 まず、双日グループ、カゴメ、小林製菓などの事例研究を通じ、企業理念の体系は一般的に「存在意義」「事業領域」「行動規範」で定義されることを理解します。 次に、他社とは大きく異なるユニークな理念を標榜する6つの企業(主として海外)事例について考えます。 さらに、独特の理念表明の方法として、赤城乳業、日本生命、資生堂などの事例を見ていきます。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	ブランドとデザイン	ブランドの書体やマーク、カラー、形状など、視覚的な表現要素を統一化することで、望ましいイメージづくりを図る方法について学びます。 加えて、プロダクト、パッケージ、オフィス空間、広告、販促物、車両、ユニフォーム、UX(顧客体験)などのデザインに比重を置く具体的な事例を見ていながら、ブランドデザイン戦略について総合的に考えていきます。 最後に、デザイン管理の手法として「異文化対応」「商標登録」「デザインのリニューアル」を見ていきます。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	前半総括と講義に関するQ&A	前半授業についての総括、および学修達成度確認のための試験(レポート提出)を行います。 レポート課題は、単に知識を問うのではなく、受講者ならではの「見解・解釈」や「アイデア」を求めるものとします。また優良レポートは他の受講者にフィードバックさせていただき、それをもとに見直しや復習を行うことを奨励します。		
	【予習内容】 Preparation	1～7回までの講義資料を見直す	240	分
	【復習内容】 Review	課題フィードバックを参照し、戦略や事例研究を行う	120	分
	インターナル(内部)ブランディング	ブランディングという顧客や社会に向けてのアピールを考えがちですが、実は企業理念やビジョンを社員が実感し、体質化するための仕組みづくりが最優先課題なのです。 インターナル(内部)ブランディングの方法論として、本講義では、①経営者によるリーダーシップ、②シンボル商品・店舗づくり、③シンボル社員の紹介、④シンボリックな職務空間づくり、⑤シンボリックな社内制度の導入、⑥共通体験による一体感形成、⑦ブランディング研修などの手法を学びます。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No10	地域ブランディング	地域ブランド化とは、名産品づくりだけでなく、地域イメージのブランド化によって地域外の資金・人材を呼び込み、持続的な地域経済の活性化を図ることを指します。 地域ブランド化には、後継者や移住者の増加などを含め、9つの大きな効果が想定されています。 本講義では、地域ブランドの事例研究や「地方発動画」「地域イベント」「ご当地〇〇」など10の手法を学び、地域社会や経済の活性化に向けて中小企業の果たす役割についても考えていきます。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

	No11	物語(ナラティブ)ブランディング	顧客の想像力を刺激する仕掛けとして「物語」はブランディングにおいても重要なキーワードです。 本講義では、現代のビジネスと物語との関わりを「社内活性化」「物語調の企画書」「物語広告・広報」「地域活性化」「商品開発」「物語分析法」などの視点から見ていきます。 また、物語の持つ①文脈理解、②潜在欲求の具現化、③能動性の喚起、④語り直しという4つの効果を意識し、情報過多とSNS全盛時代における企業コミュニケーションのあり方を考えていきます。		
		【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No12	技術ブランディング	技術のブランド化とは、例えばシャープの「プラスマクラスター」など、自社で開発した技術に独自の名前をつけ、それをブランド(標識化・マーク化)としてクロースアップする戦略が代表的です。 加えて本講義では、「技術の聖地化」「技術者のブランド化」「技術シンボルの設定」「新概念の提唱」「ライセンス先とのコラボレーション」などを展開している事例を研究し、単なる「ものづくり」ではなく、語り継がれ、世の中に愛されるものづくりの在り方を検討していきます。		
		【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No13	五感ブランディング	視覚刺激に限らず、ASMR(自律感覚絶頂反応)など消費者の五感体験の中に「ブランドらしさ」を組み込ませる戦略は有効です。日本でも音も商標登録の対象となりましたが、海外では香りや手触りが登録できる国もあります。 本講義では、香り、触覚、味覚、総合体験によるブランディングの事例を検討し、「触覚」×「聴覚」、「視覚」×「味覚」、「聴覚」×「味覚」、「触覚」×「味覚」、「視覚」×「触覚」など、感覚様相の組合せによる新ビジネスを考えていきます。		
		【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No14	プライベートブランド	プライベートブランド(PB)とは、流通業が独自に開発・販売する商品群を指します。日本型PBの特徴として、中小スーパーの協業、NBのエンドーサ化などが挙げられます。 ここでは総合スーパー、CVS、ドラッグストア、ホームセンター・バラエティショップ・雑貨、100円ショップ、ディスカウントストア、百貨店、アパレル、家電量販店などの動向を眺めるとともに、1980年代に登場して衝撃を与えた「無印良品」のケースを検討し、今後のPBについて考えます。		
		【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		【復習内容】 Review	講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	ブランド経営論Ⅱ BE-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Brand Management Theory II
担当教員 Instructor	山川 悟
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は広告会社において、新会社設立に伴うブランド開発やブランドコンサルティング業務に携わってきました。 その経験を生かし、理論偏重にならない、わかりやすく実践的なブランドマーケティング教育を展開します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	我が国の企業数の99.7%は中小企業です。小規模でも光り輝き、他社と異なる独自のポジションを確立するためには「ブランド」の構築が必要です。しかしブランドは広告宣伝だけで形成されるものではありません。 本講義では、バルミューダ、マザーハウス、ベンチャーウイスキー、ヤッホーブルーイング、スノーピークなど、最近活躍が著しい企業の事例を通じて、これからの企業経営に必要と考えられる9つの経営戦略について学んでいきます。 また、東京中小企業家同友会より3人の経営者を大学に招聘しての講演会及び受講生との対話を通じて、リアルな経営の現場を知ってもらう機会を設けます。							
【到達目標】 Course Objectives	①現代の日本の中小企業の経営課題・マーケティング課題について自分の言葉で説明できるようになる ②小さくとも輝く企業の経営戦略について具体的な事例を出して説明できるようになる ③顧客や社会に支持される経営のあり方について、自分なりの考え方を示すことができるようになる							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	マーケティングⅠⅡを受講している、あるいはそれと同等の知識ベースを持っていること。							
【教育方法】 Teaching Method	・講義中の個人ワークや発表、双方向の議論を重視しながら進めます。 ・講義回によっては、遠隔(ライブ・オンデマンド・反転)授業を採り入れる可能性もあります。							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	教科書は使用せず、講義(パワーポイント)資料を各自ダウンロードして受講します。 従って、PCまたはタブレット端末を持参するか、講義資料をプリントアウトして持参するかのいずれかで受講してください。 講義資料が手元にない方は受講できない場合がありますので、必ず指示に従ってください。							
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法	
	現代の日本の中小企業の経営課題・マーケティング課題について自分の言葉で説明できるようになる	30%	およそ70%以上の出席を条件に、本試験、ミニレポート、受講中の口頭試問等で評価	
	小さくても輝く企業の経営戦略について具体的な事例を出して説明できるようになる	30%		
	顧客や社会に支持される経営のあり方について、自分なりの考え方を示すことができるようになる	40%		
	合計		100%	

【その他の注意事項】 Others	講義資料の内容だけでなく、自分なりに事例を調べるなど、能動的な受講態度が望まれる。 毎回授業終了後に、「受講ミニレポート」を提出していただきます。 ここに書かれた内容も成績に反映されますので、そのつもりで記述してください。			
----------------------	---	--	--	--

	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	ブランド経営概論	初回講義では「ブランド経営論Ⅰ」の総まとめとともに、全企業の99.7%を占める中小企業の課題、さらには近年の動向について分析を試みます。特に「事業承継」と「生産性」という日本の企業が抱える二つの構造的課題について考察します。 また、過去に本講義に登壇頂いた東京中小企業家同友会に加盟する会社の経営者の講演内容をダイジェスト版で紹介し、経営方針や姿勢について理解を深めてもらいます。そのうえで受講者に、その企業に対する事業企画提案をしてもらう課題を出します。		
		【予習内容】 Preparation	シラバスを熟読し、エントリーシートを記入する	150	分
		【復習内容】 Review	講義で触れた企業に対する新事業企画提案を考案する	120	分
	No2	戦略1 企業と顧客とが同じ目標を持つ	貧困、過疎、差別、震災、温暖化、食糧問題、高齢化、人手不足...などの社会課題に取り組む、同時にそこに顧客が参加できるフレームを提供することで、社会から強い支持を集めている企業の事例を研究していきます。 ここでは福島屋、マザーハウス、オクタなどのケースを採り上げ、CSV(共通価値の創造)の概念について学びます。 受講後、現在興味を持っている社会課題と、それに対して各自がとっている具体的な行動について議論します。		
		【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		【復習内容】 Review	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No3	戦略2 ローリスク経営システム	個人事業所やサービス業に限らず、低リスク・低コストで起業し、成功を収める中小企業が出てきています。経営者の人脈や取引コスト減少も重要ですが、本講義ではローリスク経営を「生産ライン」「人件費」「開業資金」の三方向から眺めてみます。バルミューダ、農業生産法人GRA、マルカンビル大食堂などのケースを採り上げ、「ファブレス（Fab-less）経営」という概念について学びます。また、その弱点はどこにあるのかについても仮説を立て、議論していきます。		
		【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		【復習内容】 Review	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No4	戦略3 オンリーワン、ニッチトップ	ニッチとは、大企業が進出しない小さな分野や市場を指します。「技術」「チャネル」「特殊ニーズ」「空間」「時間」「市場規模」などの限定により、他社が参入できない領域を形成し、小規模でも高収益を上げることができます。 ここではビクセン、ベンチャーウイスキー、セーフティ&ベルなどの事例を採り上げ、「価格競争から価値競争へ」という概念の重要性について学びます。また、自分または知人の例で「価格にこだわらずに購入している商品分野」について議論します。		
		【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		【復習内容】 Review	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

No5	中小企業経営者講演①	東京中小企業家同友会に加盟する会社の経営者(経営幹部含む)を講師として招聘し、経営内容や自身の経験談等の講演を通じて中小企業経営を直接学んでいきます(ZOOM講演の可能性あり)。講演後、30分程度の時間を設け、学生との対話を図ります。これまで、旅行、IT、警備、介護、設備工事、物流、土木建設、建築設計、電子部品、テレビ番組制作、イベント企画、デザインなど、多様な業界から講師を招きました。講師については初回授業の際にご案内いたします。		
	【予習内容】 Preparation	講演者の業界・企業について事前に調べ、質問を考えておく	120	分
	【復習内容】 Review	講演内容を資料等で振り返り、意見・感想を述べる	120	分
No6	戦略4 弱みを強みとみなす	多くの企業は「強いブランド」を志向してきましたが、「強さ」は往々にして、顧客との心理的距離を発生させます。むしろ「弱い」「ハラハラする」「手を差し伸べたい」対象が愛され、応援されることがあります。ここでは、天草エアライン、テレビ東京、澤井珈琲などの事例を採り上げ、「リフレーミング(フレーム変更)」の概念について学びます。また「自分自身のダメなところ」をポジティブに表現したうえで、だからこそ、やれそうなことを考えて議論します。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No7	戦略5 業界の常識を覆す	中小企業が独自の地位を築いていくためには、業界の古い慣習を否定し、新たな方法論を打ち出さなければなりません。そのためには「当たり前」を疑い、同業他社や伝統的な価値観を否定することも必要です。ここではそこに挑戦した旭酒造、中央タクシー、ふらここなどの事例を採り上げ、逆設定法(アサンプション・スマッシング)の概念について学びます。また、身近な「常識」のうち、納得いかないこと、考え直してほしいことを指摘し、その解決策について議論します。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No8	戦略6 ユニークな社内制度を持つ	社員一人ひとりがブランドを担うという考え方を定着させるためには、特殊な制度や研修を導入し、なぜそれが必要なのか、なぜそこに経営者はこだわるのかを社員に考えてもらうのが効果的です。ユニークな制度は、リクルーティング効果アップにもつながります。ここでは、オーリーズ、伍魚福、面白法人カヤックなどの事例を採り上げ、「内部ブランディング」の概念について学びます。また、自分ならどんな制度を持つ企業に勤務したいか、その理由を含めて意見交換します。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
No9	中小企業経営者講演②	東京中小企業家同友会に加盟する会社の経営者(経営幹部含む)を講師として招聘し、経営内容や自身の経験談等の講演を通じて中小企業経営を直接学んでいきます(ZOOM講演の可能性あり)。講演後、30分程度の時間を設け、学生との対話を図ります。これまで、旅行、IT、警備、介護、設備工事、物流、土木建設、建築設計、電子部品、テレビ番組制作、イベント企画、デザインなど、多様な業界から講師を招きました。講師については初回授業の際にご案内いたします。		
	【予習内容】 Preparation	講演者の業界・企業について事前に調べ、質問を考えておく	120	分
	【復習内容】 Review	講演内容を資料等で振り返り、意見・感想を述べる	120	分
No10	戦略7 地域社会と命運を共にする	地方の人口減少の背景には、地域基幹産業の衰退、教育施設や日常生活サービスの喪失、地域コミュニティ衰退などが潜んでいます。本講義では地域住民に寄り添い、地域経済や文化を活性化させ、地域からの支持を得ることで自らも存続している事例を見ていきます。ここでは中村ブレイス、セイコーマート、でんかのヤマグチなどの事例を採り上げ、「ソーシャルデザイン」の概念について学びます。また、地元の自慢したい店や企業を紹介し、意見交換を図ります。		
	【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

	No11	戦略8 顧客と共に遊ぶ・創る	企業と顧客とが同一の世界観を共有し、「一緒に遊ぶ」「一緒に楽しむ」「一緒に価値を創り出す」ことでファンを拡大させている企業があります。中小企業は「自分が楽しみたいことを顧客にも楽しんでもらう」スタンスで、スモールビジネスができるメリットがあります。ここでは、スノーピーク、いすみ鉄道、ヤッホーブルーイングなどの事例から「ブランド・コミュニティ」の概念について学びます。また「努力は夢中には勝てない」という言葉の意味について議論していきます。		
		【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		【復習内容】 Review	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No12	戦略9 人を活かし、育てる	中小企業において、人材の確保・育成は深刻な経営課題であり、採用した人を育てて戦力化しなければ生き残れません。本講義では「ニート」「高齢者」「近所の主婦」を戦力化し、企業の活力と競争力を高めている南富士、加藤製作所、主婦の店・さいちなどの事例を採り上げ、「フォレット管理論」の概念について学びます。また、これまでの講義でとりあげた全企業(講演を頂いた会社でもOK)のうち、自分がどこか1社で働くとしたら、どの企業を選ぶか、議論します。		
		【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		【復習内容】 Review	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分
	No13	中小企業経営者講演③	東京中小企業家同友会に加盟する会社の経営者(経営幹部含む)を講師として招聘し、経営内容や自身の経験談等の講演を通じて中小企業経営を直接学んでいきます(ZOOM講演の可能性あり)。講演後、30分程度の時間を設け、学生との対話を図ります。これまで、旅行、IT、警備、介護、設備工事、物流、土木建設、建築設計、電子部品、テレビ番組制作、イベント企画、デザインなど、多様な業界から講師を招きました。講師については初回授業の際にご案内いたします。		
		【予習内容】 Preparation	講演者の業界・企業について事前に調べ、質問を考えておく	120	分
		【復習内容】 Review	講演内容を資料等で振り返り、意見・感想を述べる	120	分
	No14	応援される経営とは	特定の企業・ブランドを「支えたい」「守りたい」「育てたい」という欲求から生じた顧客行動が引き起こす応援経済が注目されつつあります。エンタメ(推し)の世界で生じている応援行動が、通常のブランドや企業に対しても拡張していると考えられます。ここでは、まるか食品、ミシマ社、タニタ、ラーメン二郎、山田うどんなどの事例から「顧客コンピテンシー」の概念について学びます。また「ファンからの応援されるような企業・ブランド」の共通点とは何か、議論します。		
		【予習内容】 Preparation	配布資料をDLのうえ熟読し、不明な言葉を調べる	120	分
		【復習内容】 Review	事後課題にとりくむとともに、講義で触れた企業・事例について、さらに調べてみる	120	分

分野系列 Area of Study	演習科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	プロフェッショナル・セミナーⅢ(地域ブランドの立案) BE-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Professional Seminar III
担当教員 Instructor	石渡 正人
必修／選択 Compulsory / Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員はキャラクターを活用した地域活性で多数の成功実績を持ち、環境省・農水省・経産省の助成事業でも成果を上げている。 その実務経験から地域のブランディングとインバウンドによる地域創生について講義する。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	地域ブランドの立案 Web2.0により販売マーケットは広がり、都市と地方の格差は薄れました。コロナも終息し、再び海外からの訪問者は増加し、インバウンド需要も回復しています。地域を核にした市場は今後確実に成長し、地域にある産業・伝統・文化などの資産を活用して地域ブランドを創造することは、地域経済を潤し、地域活性に繋がります。 企業にとっても地域ブランド商品やサービスの開発、観光やイベントなど沢山のビジネスチャンスに溢れています。 本講義では、地域ビジネスの様々な事例を学び、地域ブランドの手法を学び、現在のビジネスマーケットと照らし合わせ、受講者個々が地域ブランドを企画・構築します。							
【到達目標】 Course Objectives	地域の問題点や、地域ブランドについて理解する。 地域ブランドを構築するための手法を理解する。 地域ブランドを自分なりに考え、企画書としてまとめる。							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	好奇心旺盛で企画立案に興味があり、ブランディングやマーケティングを学びたい人。							
【教育方法】 Teaching Method	実務IQの観点から、前半は様々なビジネス事例を検証し、手法について学びます。 後半は前半で学んだことを活かし、地域ブランドの企画書を作成しプレゼンします。							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	使用せず、PPT資料を配布。							
【実務！Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	講義内容の理解と、講義中の質疑や討論へ積極的な参加。	20	受講態度20%、中間テスト40%、本試験（指定フォーマット企画書）40%		
	地域ブランドの開発手法の理解について中間テストで評価。	40			
	地域を対象にした自分なりのビジネスプランを本試験で評価。	40			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	講義中にインターネットで調べる時間があります。 受講時にPCまたはタブレットかスマホの持ち込みをお願いします。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	オリエンテーション及び地方を取り巻く状況について解説	自己紹介と講義の進め方について説明。 基礎知識として、人口減少社会、高齢化、産業空洞化、地域コミュニティの分断など現状の問題点を解説。 また、インバウンド需要やweb3などこれからのビジネスチャンスも紹介。		
		【予習内容】 Preparation	webで地方を取り巻く状況について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		【復習内容】 Review	webでインバウンドまたはweb3について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
	No2	地域活性化について 社会的アプローチ	地域コミュニティとソーシャルキャピタルについて学び、地域の人と人の繋がりについて考える。また、地域SNSや地域の個性、差別化などについても学ぶ。		
		【予習内容】 Preparation	webで地域コミュニティについて検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		【復習内容】 Review	講義で使用した配布資料を読み直し、自分なりに地域コミュニティのあり方について考える。	120	分
	No3	地域活性化について 経済学的アプローチ	地域経済活性化にとって有効的な地域ブランドについて、その考え方や手法などを学ぶ。また、身近な事例として地域商業（商店街）活性化などを考える。		
		【予習内容】 Preparation	webで地域ブランドについて検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		【復習内容】 Review	講義で使用した配布資料を読み直し、自分なりに地域ブランドのあり方について考える。	120	分
	No4	地域ブランド開発①	地域ブランドの一つの分類として、地域ブランド商品、食文化、伝統工芸など具体的事例を見ながら解説し、その手法及び活用方法を学ぶ。		
		【予習内容】 Preparation	webで伝統工芸や地域食文化について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		【復習内容】 Review	講義で使用した配布資料を読み直し、自分の身の回りにある地域ブランド商品について考える。	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	地域ブランド開発②	地域ブランドの一つの分類として、文化・環境を活用したブランドとして、テーマ型集客施設、道の駅など具体的事例を見ながら解説し、その手法及び活用方法を学ぶ。		
	【予習内容】 Preparation	webで地域における文化、集客施設について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
	【復習内容】 Review	講義で使用した配布資料を読み直し、自分の身の回りにある文化・環境ブランドについて考える。	120	分
	No6	地域ブランド開発③	地域ブランドの一つの分類として、観光ブランドを取り上げ、コンテンツツーリズム、インバウンドなど具体的事例を見ながら解説し、その手法及び活用方法を学ぶ。	
		【予習内容】 Preparation	webで観光ブランドやツーリズムについて検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120分
		【復習内容】 Review	講義で使用した配布資料を読み直し、高田馬場の観光名所について考える。	120分
	No7	地域ブランド開発④	地域のコミュニケーションやPRに有効な、キャラクター住民、ゆるきゃら、ご当地ヒーローなど具体的事例を見ながら解説し、その手法及び活用方法を学ぶ。	
		【予習内容】 Preparation	webでキャラクター文化について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120分
		【復習内容】 Review	講義で使用した配布資料を読み直し、キャラクターを使用して地域活性化する方法について考える。	120分
	No8	中間試験	1～7回までの学習達成度確認のための試験	
		【予習内容】 Preparation	中間試験のための学習	240分
		【復習内容】 Review	特になし	0分
	No9	中間試験の結果及び解説。後半の授業の進め方説明。	中間テスト内容について解説することで、1～7回の講義内容を振り返り、地域ブランドの開発方法とその効果を再度把握する。 後半の授業の進め方、学びのポイントについて説明。	
		【予習内容】 Preparation	特になし	0分
		【復習内容】 Review	戻された中間試験の解答から、自分ができていない内容について振り返り学習。	240分
No10	高田馬場の地域ブランドを考える①	前半の講義で学んだことを基に、後半の講義では受講者一人一人に、高田馬場の地域ブランドを考えてもらう。まず初めに地域の問題点の洗い出しと、強みになる点についてwebでの調査を行い、各自から発表。		
	【予習内容】 Preparation	高田馬場の地域の強み、弱みの特性についてwebで調べる。	120	分
	【復習内容】 Review	他の生徒の発表を受けて、自分で気が付かなかった点についてweb検索して学習する。	120	分

	No11	高田馬場の地域ブランドを考える②事例紹介	高田馬場の地域ブランドを企画するにあたり、そのヒントとして高田馬場発祥、日本で一番発行額の多い地域通貨「アトム通貨」について学ぶ。地域の人と人との繋がりや街を活性化するためのイベント、外部へのPR方法も学ぶ。		
		【予習内容】 Preparation	webでアトム通貨について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		【復習内容】 Review	講義で使用した配布資料を読み直し、アトム通貨を使用して地域活性する方法について考える。	120	分
	No12	高田馬場の地域ブランドを考える③事例紹介	高田馬場の地域ブランドを企画するにあたり、現存する地域ブランドである、江戸伝統野菜「内藤とうがらし」再興プロジェクトと、まちバルイベント「バル辛フェスタ」に見る地域ネットワークについて、「内藤とうがらし」プロジェクトの主催者である成田氏をゲストに招き、その内容について学ぶ。		
		【予習内容】 Preparation	webで内藤とうがらしについて検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		【復習内容】 Review	講義で使用した配布資料を読み直し、内藤とうがらしを使用して地域活性する方法について考える。	120	分
	No13	高田馬場の地域ブランドを考える④	メタバースによるバーチャル秋葉原構想を推進する、アキバ観光協議会の事務局長加賀氏をゲストに招き、web3の活用方法や、世界から観光客を呼び寄せる手法、今後の展望などから、webを活用した地域ブランドづくりについて学ぶ。		
		【予習内容】 Preparation	webでバーチャル秋葉原について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		【復習内容】 Review	講義で使用した配布資料を読み直し、web3を使用して地域活性する方法について考える。	120	分
	No14	高田馬場の地域ブランドを考える⑤	これまでの講義内容を反映させ、高田馬場の地域ブランドについての企画書を指定フォーマットにより作成。 各自の考えている概要を発表し、他の受講者から意見を聞く。		
		【予習内容】 Preparation	高田馬場の地域ブランドについて企画書にまとめる。	120	分
		【復習内容】 Review	他の受講者の意見を参考に、作成した企画書をブラッシュアップする。	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	地域創生論 I BE-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Regional Revitalization Theory I
担当教員 Instructor	石渡 正人
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員はキャラクターを活用した地域活性で多数の成功実績を持ち、環境省・農水省・経産省の助成事業でも成果を上げている。 その実務経験から地域のブランディングとインバウンドによる地域創生について講義する。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	地域ブランドの立案 Web2.0により販売マーケットは広がり、都市と地方の格差は薄れました。コロナも終息し、再び海外からの訪問者は増加し、インバウンド需要も回復しています。地域を核にした市場は今後確実に成長し、地域にある産業・伝統・文化などの資産を活用して地域ブランドを創造することは、地域経済を潤し、地域活性に繋がります。 企業にとっても地域ブランド商品やサービスの開発、観光やイベントなど沢山のビジネスチャンスに溢れています。 本講義では、地域ビジネスの様々な事例を学び、地域ブランドの手法を学び、現在のビジネスマーケットと照らし合わせ、受講者個々が地域ブランドを企画・構築します。
【到達目標】 Course Objectives	地域の問題点や、地域ブランドについて理解する。 地域ブランドを構築するための手法を理解する。 地域ブランドを自分なりに考え、企画書としてまとめる。
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	好奇心旺盛で企画立案に興味があり、ブランディングやマーケティングを学びたい人。
【教育方法】 Teaching Method	実務IQの観点から、前半は様々なビジネス事例を検証し、手法について学びます。 後半は前半で学んだことを活かし、地域ブランドの企画書を作成しプレゼンします。
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	使用せず、PPT資料を配布。
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control 協働力 ability to cooperate 思考力 ability to think 主張力 assertiveness ○ ○ 突破力 The power to break 創造力 creativity ○ ○ 忍耐力 endurance

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	講義内容の理解と、講義中の質疑や討論へ積極的な参加。	20%	受講態度20%、中間テスト40%、本試験（指定フォーマット企画書）40%		
	地域ブランドの開発手法の理解について中間テストで評価。	40%			
	地域を対象にした自分なりのビジネスプランを本試験で評価。	40%			
		合計	100%		
【その他の注意事項】 Others	講義中にインターネットで調べる時間があります。 受講時にPCまたはタブレットかスマホの持ち込みをお願いします。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	オリエンテーション及び地方を取り巻く状況について解説	自己紹介と講義の進め方について説明。 基礎知識として、人口減少社会、高齢化、産業空洞化、地域コミュニティの分断など現状の問題点を解説。 また、インバウンド需要やweb3などこれからのビジネスチャンスも紹介。		
		【予習内容】 Preparation	webで地方を取り巻く状況について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		【復習内容】 Review	webでインバウンドまたはweb3について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
	No2	地域活性化について 社会的アプローチ	地域コミュニティとソーシャルキャピタルについて学び、地域の人と人の繋がりについて考える。また、地域SNSや地域の個性、差別化などについても学ぶ。		
		【予習内容】 Preparation	webで地域コミュニティについて検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		【復習内容】 Review	講義で使用した配布資料を読み直し、自分なりに地域コミュニティのあり方について考える。	120	分
	No3	地域活性化について 経済学的アプローチ	地域経済活性化にとって有効的な地域ブランドについて、その考え方や手法などを学ぶ。また、身近な事例として地域商業（商店街）活性化などを考える。		
		【予習内容】 Preparation	webで地域ブランドについて検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		【復習内容】 Review	講義で使用した配布資料を読み直し、自分なりに地域ブランドのあり方について考える。	120	分
	No4	地域ブランド開発①	地域ブランドの一つの分類として、地域ブランド商品、食文化、伝統工芸など具体的事例を見ながら解説し、その手法及び活用方法を学ぶ。		
		【予習内容】 Preparation	webで伝統工芸や地域食文化について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		【復習内容】 Review	講義で使用した配布資料を読み直し、自分の身の回りにある地域ブランド商品について考える。	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	地域ブランド開発②	地域ブランドの一つの分類として、文化・環境を活用したブランドとして、テーマ型集客施設、道の駅など具体的事例を見ながら解説し、その手法及び活用方法を学ぶ。		
	【予習内容】 Preparation	webで地域における文化、集客施設について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
	【復習内容】 Review	講義で使用した配布資料を読み直し、自分の身の回りにある文化・環境ブランドについて考える。	120	分
	No6	地域ブランド開発③	地域ブランドの一つの分類として、観光ブランドを取り上げ、コンテンツツーリズム、インバウンドなど具体的事例を見ながら解説し、その手法及び活用方法を学ぶ。	
		【予習内容】 Preparation	webで観光ブランドやツーリズムについて検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120 分
		【復習内容】 Review	講義で使用した配布資料を読み直し、高田馬場の観光名所について考える。	120 分
	No7	地域ブランド開発④	地域のコミュニケーションやPRに有効的な、キャラクター住民、ゆるキャラ、ご当地ヒーローなど具体的事例を見ながら解説し、その手法及び活用方法を学ぶ。	
		【予習内容】 Preparation	webでキャラクター文化について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120 分
		【復習内容】 Review	講義で使用した配布資料を読み直し、キャラクターを使用して地域活性する方法について考える。	120 分
	No8	中間試験	1～7回までの学習達成度確認のための試験	
		【予習内容】 Preparation	中間試験のための学習	120 分
		【復習内容】 Review	特になし	0 分
	No9	中間試験の結果及び解説。後半の授業の進め方説明。	中間テスト内容について解説することで、1～7回の講義内容を振り返り、地域ブランドの開発方法とその効果を再度把握する。 後半の授業の進め方、学びのポイントについて説明。	
		【予習内容】 Preparation	特になし	0 分
		【復習内容】 Review	戻された中間試験の解答から、自分ができていない内容について振り返り学習。	120 分

	No10	高田馬場の地域ブランドを考える①	前半の講義で学んだことを基に、後半の講義では受講者一人一人に、高田馬場の地域ブランドを考えてもらう。まず初めに地域の問題点の洗い出しと、強みになる点についてwebでの調査を行い、各自から発表。		
		【予習内容】 Preparation	高田馬場の地域の強み、弱みの特性についてwebで調べる。	120	分
		【復習内容】 Review	他の生徒の発表を受けて、自分で気が付かなかった点についてweb検索して学習する。	120	分
	No11	高田馬場の地域ブランドを考える②事例紹介	高田馬場の地域ブランドを企画するにあたり、そのヒントとして高田馬場発祥、日本で一番発行額の多い地域通貨「アトム通貨」について学ぶ。地域の人と人との繋がりや街を活性化するためのイベント、外部へのPR方法も学ぶ。		
		【予習内容】 Preparation	webでアトム通貨について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		【復習内容】 Review	講義で使った配布資料を読み直し、アトム通貨を使用して地域活性する方法について考える。	120	分
	No12	高田馬場の地域ブランドを考える③事例紹介	高田馬場の地域ブランドを企画するにあたり、現存する地域ブランドである、江戸伝統野菜「内藤とうがらし」再興プロジェクトと、まちパルイベント「バル辛フェスタ」に見る地域ネットワークについて、「内藤とうがらし」プロジェクトの主催者である成田氏をゲストに招き、その内容について学ぶ。		
		【予習内容】 Preparation	webで内藤とうがらしについて検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		【復習内容】 Review	講義で使った配布資料を読み直し、内藤とうがらしを使用して地域活性する方法について考える。	120	分
	No13	高田馬場の地域ブランドを考える④	メタバースによるバーチャル秋葉原構想を推進する、アキバ観光協議会の事務局長加賀氏をゲストに招き、web3の活用方法や、世界から観光客を呼び寄せる手法、今後の展望などから、webを活用した地域ブランドづくりについて学ぶ。		
		【予習内容】 Preparation	webでバーチャル秋葉原について検索し、記事を読み、基礎情報を頭に入れる。	120	分
		【復習内容】 Review	講義で使った配布資料を読み直し、web3を使用して地域活性する方法について考える。	120	分
	No14	高田馬場の地域ブランドを考える⑤	これまでの講義内容を反映させ、高田馬場の地域ブランドについての企画書を指定フォーマットにより作成。 各自の考えている概要を発表し、他の受講者から意見を聞く。		
		【予習内容】 Preparation	高田馬場の地域ブランドについて企画書にまとめる。	240	分
		【復習内容】 Review	他の受講者の意見を参考に、作成した企画書をブラッシュアップする。	240	分

分野系列 Area of Study	演習科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	プロフェッショナル・セミナーⅢ(展示会・会議イベント) BE-D
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Professional Seminar III
担当教員 Instructor	佐藤 友紀子
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	実際に、展示会・会議イベントを実施した経験のある教員が講義を行う。実際の事例を使いながら、実施に至るまでの流れ・考えるポイントを示しながら進める。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	テーマ：「イベントのいろは」 概要： イベントと言っても、その内容は様々。音楽・スポーツイベントなどが目につきがちですが、実際には発表会や展示会、企業の会議・コンベンションやパーティなど毎日様々なイベントが行われています。目的や課題に応じて、イベントの種類やその内容は大きく違ってきます。当プロフェッショナルセミナーでは、それぞれのイベントに必要なモノ・コトについての知識や、イベントの違いや特性などについて学ぶことで、課題を解決する手段としての「イベント」に対する理解を深めます。その後、社会に出た時に即戦力となれるよう、発想力・プレゼン力・協同力をより一層高めていくことを目指します。							
【到達目標】 Course Objectives	【チームワークの重要性を知り、承認力を身に付ける】 ・具体的な課題への期限のある作業を通し、役割分担やサポートの大切さに気付く。 ・ひとつの事象に対して感じることは人それぞれ。それを否定せず認め合いながら自分の発想の糧にできる。 【PC作業力・想像力・発想力・プレゼンテーション力を育む】 ・イベントの種類に応じたプランニングのための情報収集とアイデア出しができ、自分のアイデア・企画を、わかりやすく、共感をもって伝えられる力を身に付ける。 ・座学で学んだ企画・演出・運営のポイントを理解しながらプランニング～資料作成～プレゼンテーションができる。 【自らの展示会・会議イベントを組み立てる力を身につける】 オリジナル企画のイベントをデザインし表現して相手に提案し、実現することができる。							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇幅広くイベントに興味を持ち、特にイベントの「展示会・会議イベント」の仕組みを知りたいと考えていること。 ◇講義内で行うワークやディスカッションに積極的に参加できること。							
【教育方法】 Teaching Method	講義ではスライドを使用し、展示会・会議イベントの基本を学びます。 またワークも取り入れ、実践に近いかたちで展示会イベントのポイントを押さえていきます。							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	◇教科書は使用せず。必要に応じて資料配布する。							
【実務！Q修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance	○
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法	
	【展示会・会議イベントに関する基礎知識を理解する】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。	30%	70%以上の出席を前提として、 授業態度30%、提出物10%、期末試験60% 講義への積極的な参加姿勢・ワークへの取り組みなど含め、総合的な学習成果に基づいて評価します。	
	【展示会・会議イベントの構成要素を知り理解する】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。	35%		
	【自ら展示会・会議イベントを組み立てる力を身につける】 授業中に行う質疑応答、ワーク、小テスト、本試験の設問に対する回答によって評価。	35%		
	合計		100%	

【その他の注意事項】 Others	◇講義中、他者に迷惑となる行為（私語等）厳に禁止する。講義に関係のない携帯電話の使用（メール・ウェブの閲覧も含む）もご遠慮ください。 ◇授業に使用する一部スライドの撮影はできません。また、スライドの配布はいたしません。			

	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents			
	No1	イントロダクション	本講義についてのガイダンス			
	No2	展示会・会議系イベントの基礎	展示会とは／会議系イベントとは			
	No3	展示会場の仕組み	展示会主催側の動き			
	No4	出展要綱について-1	展示会ならではのルール			
		【予習内容】 Preparation	自身が想像する展示会について考察する	120	分	
			当該講義内容について	120	分	
				【予習内容】 Preparation	展示会主催者にはどのような人がいるか考察	120
当該講義内容について					120	分
	【予習内容】 Preparation	想像する展示会のルールについて考察			120	分
		当該講義内容について			120	分
			【予習内容】 Preparation	展示会制作時に必要となりそうな提出書類について考察	120	分
				当該講義内容について	120	分

No5	出展要綱について-2	提出書類の意味／レンタル品		
	【予習内容】 Preparation	出展要綱とは何かについて考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No6	出展要綱について-3	出展要綱読み解き～実践		
	【予習内容】 Preparation	さまざまな展示会のブースの特徴について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No7	展示会のブース作り	展示会における施工の特徴		
	【予習内容】 Preparation	展示会に限らず見たことのある商品展示について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No8	展示方法について	業界別に見る展示手法		
	【予習内容】 Preparation	展示会の運営とはどういうものかについて考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No9	展示会の運営	展示会における運営計画（導線・ポストとシフトなど）		
	【予習内容】 Preparation	印象に残っているブースについて、その理由を考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
No10	効果的なブース作り	施工、導線、サイン、展示方法		
	【予習内容】 Preparation	想像する「会議イベント」について考察	120	分
	【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分

	No11	外部向け会議イベント	カンファレンス／コンベンション／カンファレンスなどの作り方		
		【予習内容】 Preparation	会議イベントで重要と思われる運営について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No12	会議イベントの運営	会議イベントの運営ポイント		
		【予習内容】 Preparation	さまざまな授業で学んだ運営について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No13	会議イベントを考える	運営計画実践		
		【予習内容】 Preparation	自身が体験、もしくは見聞きした表彰式について考察	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容について	120	分
	No14	番外編：表彰式	表彰式の作り方		
		【予習内容】 Preparation	学んだことを頭に入れながら開催されている展示会に足を運ぶ	120	分
		【復習内容】 Review	当該講義内容と、これまでの講義について	120	分

分野系列 Area of Study	演習科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	プロフェッショナル・セミナーⅢ(文化芸術イベント) BE-E
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Professional Seminar III
担当教員 Instructor	賽音吉雅
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は、20年間以上のプロ演奏活動とフィールドスタディーのデータをもとに講義を行う。現場を経験したからこそ、豊富な指導経験や具体的事例に基づき、文化芸術イベント論をわかりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	プロフェッショナル・セミナーとは何か。 首都圏に集まる若年層（大学・短大・専門学校生・社会人）がどのような考えで、どのようなプロへの志向性を持っているかについて解析する。そして、若者にとって魅力ある学習環境や共感を呼ぶフィールドスタディーのあり方を提案する。フィールドスタディーで実践の根底にあるパラダイム（概念的枠組）や、関連する学習環境の課題についても多角的に考察する。							
【到達目標】 Course Objectives	キャリアデザインを楽しむ自由かつ関連な思考を醸成する 文芸（概論）と実習を連携するイベントを企画・実施する 芸術性（アーティスティック）を課題としたイベントを企画し、実施する能力に目標する。							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇ 芸術・音楽・演奏を楽しみ、好きな課題を見つけられる人。							
【教育方法】 Teaching Method	担当教員は、来日以来20年間のプロ演奏活動とフィールドスタディーのデータをもとに講義を行う。現場を経験したからこそ、学生にとっての学びに有益な情報を選択して、豊富な指導経験や具体的事例に基づき、授業づくりの面白さや課題を丁寧に解説する。							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	◇教材は文献資料、DVD、写真、パワーポイントなどを利用する。参考文献等は、その都度、授業中に紹介する。							
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control	○	思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance	○
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	芸術、エンタメ、ミュージックなど企画・実施（キャリアデザイン）し、その内容を評価する。	30%	授業への参加率・レポートの出来映えなどから授業への積極性を評価する		
	プロとは何か、について基本的な知見と方法を学び、さらに個性（オリジナリティー）を評価する。	30%			
	芸術性（アーティスティック）を課題としたイベントを企画し、実施する能力を評価する。	40%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	◇この授業（スタディー）をプロフェッショナルへの入口にするという意欲を高めること。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	授業概要	オリエンテーション（自己紹介を含む）		
		【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
	No2	デザイン論	美術・芸術とキャリアデザインとは何か		
		【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
	No3	文化交流論①	東西文化交流の方法		
		【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
	No4	文化交流論②	アジア文化交流の特色		
		【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	文化交流論③	日本モンゴル文化交流の意義		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
No6	エンタメについて分析	エンタメイベントプロデュースの課題		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
No7	エンタメ論①	映画企画、制作の課題		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
No8	エンタメ論②	テレビ・ラジオ制作の課題		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
No9	エンタメ論③	インターネット動画制作の方法		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
No10	音楽のジャンルについて	クラシック～民族音楽の楽しみ方		
	【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分

	No11	伝統音楽①	馬頭琴の多文化性A（和楽器との共演）		
		【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
	No12	伝統音楽②	馬頭琴の多文化性B（日本の歌との共演）		
		【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
	No13	伝統音楽③	馬頭琴の多文化性C（朗読との共演）		
		【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	講義のメモにて復習	120	分
	No14	総括・達成度の確認	今までの授業についての総括および学習達成度の確認テストを実施する		
		【予習内容】 Preparation	事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	全体の復習	120	分

分野系列 Area of Study	選択科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2024)、経営学部 イベント(留学2024)、経営学部 イベント(2024)、経営学部 経営学科(2024)、経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	1 年
講義名 Name of Subject	プロフェッショナル・セミナーⅢ(コミュニケーション囲碁) BE-B
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Professional Seminar III
担当教員 Instructor	原 晶子
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	囲碁を用いてコミュニケーションを活性化していく活動を、保育園、学校、企業等で研修を約15年行い、囲碁サロン運営、特別支援福祉サービスの職員である教員が講義を行う。囲碁のスキルは日本棋院所属のプロ棋士をゲストに招いて行っている。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	囲碁を用いて、コミュニケーションについて学んでいきます。 囲碁は「手談」とも言われ、言葉がなくても、石を打つ一手一手の着手でお互いに対話をしていくという意味です。 バリアフリーに世界中で楽しませているゲームです。 囲碁のスキルは、プロの囲碁棋士をゲストに招き講義をしていただきます。 初めての方でも、易しく囲碁入門を学ぶことができます。 「純碁」という手法を使い進めます。 前期終了時には小さい碁盤で囲碁が打てるようになります。 コミュニケーションについては「自分らしく生きる」「自己実現」に必要と思われる基本を中心に学んでいきます。 「気づき」「考える」「表現する」「共有する」この4つを大切に、体験型、グループワークを中心に進めていきます。 楽しく学んでいきましょう。																						
【到達目標】 Course Objectives	小さい碁盤（9路盤）で囲碁が打てるようになる 全員が積極的に授業に参加し　クラスでのコミュニケーションが活発になる 自分の気づき　考えを記述　表現 共有する習慣が身につく																						
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	全学年 囲碁に関心がある。 コミュニケーションについて気にしている　学びたいと思っている。																						
【教育方法】 Teaching Method	囲碁を学びながら、自然に学生同士のコミュニケーションが活性化していくことを目指す。 囲碁の講義は、プロ棋士が担当する。入門者に導入しやすい「純碁」という方法を用いる。 「気づき」「考える」「表現する」「共有する」この4つを大切に、体験型、グループワークを中心に進める。																						
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks　・　Reference Books	簡易囲碁セット　1,000円（税込み） 2回目の講義の際に購入いただきます。（現金でご持参ください）																						
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td></td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td></td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td>○</td><td>主張力 assertiveness</td><td>○</td><td>創造力 creativity</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>							自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance																	
協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○																		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	出席(振り返りシート提出)	70%	囲碁のスキルについての評価はありません。 正解、不正解を問うことはありません。 授業の終わりに、振り返りシートを記入し提出することで出席とします。		
	授業参加態度	20%			
	試験 記述式（自分の気づき、考え）	10%			
	合計	1 0 0 %			
【その他の注意事項】 Others	ゲストのスケジュールにより、授業日程が入れ替わる場合があります。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	「コミュニケーション囲碁」について	本授業の目指すこと 囲碁について コミュニケーションについて		
		【予習内容】 Preparation		0	分
		【復習内容】 Review	この授業に期待することを記述する 「囲碁」について調べ記述する	120	分
	No2	囲碁【1回目】 講師：公益財団法人 日本棋院所属 大西研也（おおにし けんや）六段	大西研也（おおにし けんや）六段の紹介 お話 自己紹介 囲碁の基本ルール説明 対局 解説 「純碁」 囲碁サイトの紹介 振り返りシート記入		
		【予習内容】 Preparation	大西研也（おおにし けんや）六段について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	「純碁」 囲碁サイトで対局	120	分
	No3	囲碁【2回目】 講師：大西研也（おおにし けんや）六段	囲碁の基本ルール復習 対局 解説 振り返りシート記入		
		【予習内容】 Preparation	「純碁」 囲碁サイトで対局	120	分
		【復習内容】 Review	「純碁」 囲碁サイトで対局	120	分
	No4	囲碁【3回目】 講師：大西研也（おおにし けんや）六段	前回の復習 対局 解説 振り返りシート記入		
		【予習内容】 Preparation	「純碁」 囲碁サイトで対局	120	分
		【復習内容】 Review	「純碁」 囲碁サイトで対局	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	囲碁【4回目】 講師：講師：公益財団法人 日本棋院所属 王 銘琬（おう めいえん）九段	王 銘琬（おう めいえん）九段の紹介 お話 前回の復習 対局 解説 振り返りシート記入		
	【予習内容】 Preparation	王 銘琬（おう めいえん）九段について調べる	120	分
	【復習内容】 Review	「純碁」囲碁サイトで対局	120	分
	囲碁【5回目】 講師 大西研也（おおにし けんや）六段	前回の復習 対局 解説 振り返りシート記入		
	【予習内容】 Preparation		120	分
	【復習内容】 Review	「純碁」囲碁サイトで対局	120	分
	囲碁【6回目】 講師：一般社団法人 日本視覚障害者囲碁協会 代表理事 柿島光晴（かきじま みつはる）氏	柿島光晴（かきじま みつはる）氏 紹介 お話 視覚障害者用囲碁セット「アイゴ」の紹介 柿島さんに挑戦！！囲碁対局 振り返りシート記入		
	【予習内容】 Preparation	柿島光晴（かきじま みつはる）氏について調べる	120	分
	【復習内容】 Review	「純碁」囲碁サイトで対局	120	分
	コミュニケーション【1回目】	コミュニケーションについて 振り返りシート記入		
	【予習内容】 Preparation	「コミュニケーション」について記述する	140	分
	【復習内容】 Review	「純碁」囲碁サイトで対局	120	分
No8	コミュニケーション【2回目】	自分について 振り返りシート記入		
	【予習内容】 Preparation	「自分について」記述	140	分
	【復習内容】 Review	「純碁」囲碁サイトで対局	120	分

	No10	コミュニケーション【3回目】	未来予想図 振り返りシート記入		
		【予習内容】 Preparation	「未来予想図」記述	140	分
		【復習内容】 Review	「純碁」囲碁サイトで対局	120	分
	No11	コミュニケーション【4回目】	夢大会 振り返りシート記入		
		【予習内容】 Preparation	「夢について」記述	140	分
		【復習内容】 Review	「純碁」囲碁サイトで対局	120	分
	No12	囲碁大会企画	囲碁大会の企画 振り返りシート記入		
		【予習内容】 Preparation	「囲碁大会」企画案 記述	140	分
		【復習内容】 Review	「囲碁大会」について復習	120	分
	No13	囲碁大会	囲碁大会 振り返りシート記入		
		【予習内容】 Preparation	「囲碁大会」について予習	120	分
		【復習内容】 Review	「純碁」囲碁サイトで対局	120	分
	No14	まとめ	振り返り発表 試験についての説明		
		【予習内容】 Preparation	振り返り発表内容記述	140	分
		【復習内容】 Review	「試験」について学習	120	分

分野系列 Area of Study	選択科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2024)、経営学部 イベント(留学2024)、経営学部 イベント(2024)、経営学部 経営学科(2024)、経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	1 年
講義名 Name of Subject	文化教養特講 I (コミュニケーション囲碁) BE-C
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Cultural Education Special Lecture I
担当教員 Instructor	原 晶子
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	囲碁を用いてコミュニケーションを活性化していく活動を、保育園、学校、企業等で研修を約15年行い、囲碁サロン運営、特別支援福祉サービスの職員である教員が講義を行う。 囲碁のスキルは日本棋院所属のプロ棋士をゲストに招いて行っている。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	囲碁を用いて、コミュニケーションについて学んでいきます。 囲碁は「手談」とも言われ、言葉がなくても、石を打つ一手一手の着手でお互いに対話をしていくという意味です。 バリアフリーに世界中で楽しまれているゲームです。 囲碁のスキルは、プロの囲碁棋士をゲストに招き講義をしていただきます。 初めての方でも、易しく囲碁入門を学ぶことができます。 「純碁」という手法を使い進めます。 前期終了時には小さい碁盤で囲碁が打てるようになります。 コミュニケーションについては「自分らしく生きる」「自己実現」に必要と思われる基本を中心に学んでいきます。 「気づき」「考える」「表現する」「共有する」この4つを大切に、体験型、グループワークを中心に進めていきます。 楽しく学んでいきましょう。
【到達目標】 Course Objectives	小さい碁盤（9路盤）で囲碁が打てるようになる 全員が積極的に授業に参加し クラスでのコミュニケーションが活発になる 自分の気づき 考えを記述 表現 共有する習慣が身につく
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	全学年 囲碁に関心がある。 コミュニケーションについて気にしている 学びたいと思っている。
【教育方法】 Teaching Method	囲碁を学びながら、自然に学生同士のコミュニケーションが活性化していくことを目指す。 囲碁の講義は、プロ棋士が担当する。入門者に導入しやすい「純碁」という方法を用いる。 「気づき」「考える」「表現する」「共有する」この4つを大切に、体験型、グループワークを中心に進める。
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	簡易囲碁セット 1,000円（税込み） 2回目の講義の際に購入いただきます。（現金でご持参ください）

【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td></td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td></td><td>忍耐力 endura</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td>○</td><td>主張力 assertiveness</td><td>○</td><td>創造力 creativity</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>					自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endura		協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○																		
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endura																															
協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○																																
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	<table><tr><th colspan="4">評価項目と割合</th><th colspan="3">評価方法</th></tr><tr><td colspan="4">出席(振り返りシート提出)</td><td>70%</td><td colspan="3" rowspan="4">囲碁のスキルについての評価はありません。 正解、不正解を問うことはありません。 授業の終わりに、振り返りシートを記入し提出することで出席とします。</td></tr><tr><td colspan="4">授業参加態度</td><td>20%</td></tr><tr><td colspan="4">試験 記述式（自分の気づき、考え）</td><td>10%</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td>100%</td></tr></table>							評価項目と割合				評価方法			出席(振り返りシート提出)				70%	囲碁のスキルについての評価はありません。 正解、不正解を問うことはありません。 授業の終わりに、振り返りシートを記入し提出することで出席とします。			授業参加態度				20%	試験 記述式（自分の気づき、考え）				10%	合計				100%
評価項目と割合				評価方法																																	
出席(振り返りシート提出)				70%	囲碁のスキルについての評価はありません。 正解、不正解を問うことはありません。 授業の終わりに、振り返りシートを記入し提出することで出席とします。																																
授業参加態度				20%																																	
試験 記述式（自分の気づき、考え）				10%																																	
合計				100%																																	
【その他の注意事項】 Others	ゲストのスケジュールにより、授業日程が入れ替わる場合があります。																																				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme			【学習内容】 Study Contents																																
	No1	「コミュニケーション囲碁」について			本授業の目指すこと 囲碁について コミュニケーションについて																																
	【予習内容】 Preparation					0	分																														
	【復習内容】 Review			この授業に期待することを記述する 「囲碁」について調べ記述する		120	分																														
	No2	囲碁【1回目】 講師：公益財団法人 日本棋院所属 大西研也（おおにし けんや）六段			大西研也（おおにし けんや）六段の紹介 お話 自己紹介 囲碁の基本ルール説明 対局 解説 「純碁」囲碁サイトの紹介 振り返りシート記入																																
	【予習内容】 Preparation			大西研也（おおにし けんや）六段について調べる		120	分																														
	【復習内容】 Review			「純碁」囲碁サイトで対局		120	分																														
	No3	囲碁【2回目】 講師：大西研也（おおにし けんや）六段			囲碁の基本ルール復習 対局 解説 振り返りシート記入																																
	【予習内容】 Preparation			「純碁」囲碁サイトで対局		120	分																														
	【復習内容】 Review			「純碁」囲碁サイトで対局		120	分																														

【授業計画】 Course Schedule	No4	囲碁【3回目】 講師：大西研也（おおにしけんや）六段	前回の復習 対局 解説 振り返りシート記入		
		【予習内容】 Preparation	「純碁」囲碁サイトで対局	120	分
		【復習内容】 Review	「純碁」囲碁サイトで対局	120	分
	No5	囲碁【4回目】 講師：講師：公益財団法人日本棋院所属 王 銘琬（おう めいえん）九段	王 銘琬（おう めいえん）九段の紹介 お話 前回の復習 対局 解説 振り返りシート記入		
		【予習内容】 Preparation	王 銘琬（おう めいえん）九段について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	「純碁」囲碁サイトで対局	120	分
	No6	囲碁【5回目】 講師 大西研也（おおにしけんや）六段	前回の復習 対局 解説 振り返りシート記入		
		【予習内容】 Preparation		120	分
		【復習内容】 Review	「純碁」囲碁サイトで対局	120	分
	No7	囲碁【6回目】 講師：一般社団法人 日本視覚障害者囲碁協会 代表理事 柿島光晴（かきじま みつはる）氏	柿島光晴（かきじま みつはる）氏 紹介 お話 視覚障害者用囲碁セット「アイゴ」の紹介 柿島さんに挑戦！！囲碁対局 振り返りシート記入		
		【予習内容】 Preparation	柿島光晴（かきじま みつはる）氏について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	「純碁」囲碁サイトで対局	120	分
	No8	コミュニケーション【1回目】	コミュニケーションについて 振り返りシート記入		
		【予習内容】 Preparation	「コミュニケーション」について記述する	140	分
		【復習内容】 Review	「純碁」囲碁サイトで対局	120	分

	No9	コミュニケーション【2回目】	自分について 振り返りシート記入		
		【予習内容】 Preparation	「自分について」記述	140	分
		【復習内容】 Review	「純碁」囲碁サイトで対局	120	分
	No10	コミュニケーション【3回目】	未来予想図 振り返りシート記入		
		【予習内容】 Preparation	「未来予想図」記述	140	分
		【復習内容】 Review	「純碁」囲碁サイトで対局	120	分
	No11	コミュニケーション【4回目】	夢大会 振り返りシート記入		
		【予習内容】 Preparation	「夢について」記述	140	分
		【復習内容】 Review	「純碁」囲碁サイトで対局	120	分
	No12	囲碁大会企画	囲碁大会の企画 振り返りシート記入		
		【予習内容】 Preparation	「囲碁大会」企画案 記述	140	分
		【復習内容】 Review	「囲碁大会」について復習	120	分
	No13	囲碁大会	囲碁大会 振り返りシート記入		
		【予習内容】 Preparation	「囲碁大会」について予習	120	分
		【復習内容】 Review	「純碁」囲碁サイトで対局	120	分

	No14	まとめ	振り返り発表 試験についての説明		
		【予習内容】 Preparation	振り返り発表内容記述	140	分
		【復習内容】 Review	「試験」について学習	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	プロフェッショナル・セミナーⅢ（リスクマネジメント）BE-C
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Professional Seminar Ⅲ
担当教員 Instructor	三好 陽介
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 （実務経験と授業内容の関係）	大手電機メーカーおよび食品メーカーの知的財産部門にて種々の交渉や訴訟対応の経験を豊富に有し現在は起業経営を行っている教員が担当する。身の回りの事象についてリスクの想定や対策、それを踏まえた意思決定のあり方等について、演習とディスカッションにより実践的な能力向上を行う。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	ビジネスにおいてさまざまな意思決定を行うためには、メリットとデメリットを適切に比較することが必要になります。その際、意思決定に必要な情報が揃っていることはほとんどなく、多くの場合は不十分な情報をもとに判断することになります。 この授業では「リスク」について、1)不確実な将来を、現時点で評価するための方法と、2)起きてしまつては困る事態に対して、どのように備えるか、の2つの観点から考えます。 各回の授業では講義のほか演習を行い「リスク」について学ぶことができます。																									
【到達目標】 Course Objectives	1)リスクの種類と重要度についての理解 講義内容を理解し、リスクの種類と重要度についての基本的知識を習得したかどうか、演習レポートおよび期末試験によって、客観的に評価する。 2)リスクの予防や対策についての理解 講義内容を理解し、リスクの予防や対策についての基本的知識を習得したかどうか、演習レポートおよび期末試験によって、客観的に評価する。 3)メリットとデメリットの比較による合理的意思決定についての理解 講義内容を理解し、合理的な意思決定についての基本的知識を習得したかどうか、演習レポートおよび期末試験によって、客観的に評価する。																									
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	履修条件：特になし 受講推奨者：将来的に自らものごとを判断・決定する立場につくことを志向する方																									
【教育方法】 Teaching Method	授業の前半に講義を行い、後半は講義内容に即した演習を行う 単元を終了したタイミングで、論述演習や模擬交渉演習を行う																									
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	使用せず																									
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td></td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td></td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td>○</td><td>主張力 assertiveness</td><td>○</td><td>創造力 creativity</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>										自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance																				
協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○																					

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	授業への貢献と演習課題	50%	所定の回数以上出席した者について本試験の得点により評価を行う。 授業への積極的な参加等、貢献の大きい者は加点することがある。		
	学期末に実施する本試験	50%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	特になし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	オリエンテーション	この科目の概要とリスクマネジメントを学ぶことの意義について		
		【予習内容】 Preparation	身の回りで「リスク」という言葉を耳にした経験を思い起こし、どんな内容だったかを整理しておく	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No2	リスクマネジメントとは	リスクとは何か、リスクをマネージするとはどういうことか		
		【予習内容】 Preparation	リスクとは何か、リスクをマネージするとはどういうことなのか、web等で調べておく	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No3	リスクを「感じる」	どんなリスクがあるかを予測する		
		【予習内容】 Preparation	交差点やスポーツなど、身の回りでリスクがありそうな場面を想定し、どんなリスクがあるかを考える	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No4	リスクの見きわめ(1)	発生確率を見積もる		
		【予習内容】 Preparation	身の回りのリスクについて、発生確率の大小を考えてみる	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	リスクの書きわめ(2)	ダメージを見積もる		
	【予習内容】 Preparation	リスクが実際に発生してしまった時に想定されるダメージについて考えてみる	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	演習	リスクの優先順位を付ける		
	【予習内容】 Preparation	リスクの優先順位とは何によって決まるのか、考える	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	リスクの対策(1)	リスクの対応方法（予防・ダメージコントロール）について学ぶ		
	【予習内容】 Preparation	リスクの対応にはどんなものがあるか、調べてみる	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	リスクの対策(2)	いまやれる対応と長期的な対策の違いについて学ぶ		
	【予習内容】 Preparation	リスクの対策を、どんな順序で行っていくと良いか、考えてみる	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
No9	演習	論述式の演習により、これまでの学習内容の理解度を自己評価する		
	【予習内容】 Preparation	これまでの学習内容を整理しておく	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
No10	意思決定の基礎	メリットとデメリットの比較		
	【予習内容】 Preparation	なにかを「やる」「やらない」と決めるにはどうしたらよいか考えておく	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分

	No11	リスクマネジメントが未来を拓く	未来のメリットとデメリットをどう比較するか、リスクマネジメントによって未来はどう変えられるのか		
		【予習内容】 Preparation	リスク対策をすることにより「未来が拓ける」とはどういうことか、考えておく	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No12	模擬交渉準備	役割シートをもとに交渉をどう進めるか考える		
		【予習内容】 Preparation	交渉とはどんなことなのか調べてみる	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No13	模擬交渉	役割シートをもとに受講生間で模擬交渉を行い、自らが交渉中にどのように判断したかを振り返る		
		【予習内容】 Preparation	先週の準備内容をよく理解しておく	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No14	まとめ	これまでの授業で学んだことを総括し、学習目標が達成できているかどうかを自己評価する		
		【予習内容】 Preparation	これまでの授業内容を振り返っておく	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	リスク・マネジメント論 I BE-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Risk Management Theory I
担当教員 Instructor	三好 陽介
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	大手電機メーカーおよび食品メーカーの知的財産部門にて種々の交渉や訴訟対応の経験を豊富に有し現在は起業経営を行っている教員が担当する。身の回りの事象についてリスクの想定や対策、それを踏まえた意思決定のあり方等について、演習とディスカッションにより実践的な能力向上を行う。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	ビジネスにおいてさまざまな意思決定を行うためには、メリットとデメリットを適切に比較することが必要になります。その際、意思決定に必要な情報が揃っていることはほとんどなく、多くの場合は不十分な情報をもとに判断することになります。 この授業では「リスク」について、1)不確実な将来を、現時点で評価するための方法と、2)起きてしまつては困る事態に対して、どのように備えるか、の2つの観点から考えます。 各回の授業では講義のほか演習を行い「リスク」について学ぶことができます。																							
【到達目標】 Course Objectives	1)リスクの種類と重要度についての理解 講義内容を理解し、リスクの種類と重要度についての基本的知識を習得したかどうか、演習レポートおよび期末試験によって、客観的に評価する。 2)リスクの予防や対策についての理解 講義内容を理解し、リスクの予防や対策についての基本的知識を習得したかどうか、演習レポートおよび期末試験によって、客観的に評価する。 3)メリットとデメリットの比較による合理的意思決定についての理解 講義内容を理解し、合理的な意思決定についての基本的知識を習得したかどうか、演習レポートおよび期末試験によって、客観的に評価する。																							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	履修条件：特になし 受講推奨者：将来的に自らものごとを判断・決定する立場につくことを志向する方																							
【教育方法】 Teaching Method	授業の前半に講義を行い、後半は講義内容に即した演習を行う 単元を終了したタイミングで、論述演習や模擬交渉演習を行う																							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	使用せず																							
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td></td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td></td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td>○</td><td>主張力 assertiveness</td><td>○</td><td>創造力 creativity</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>								自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance																		
協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○																			

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	授業への貢献と演習課題	50%	所定の回数以上出席した者について本試験の得点により評価を行う。 授業への積極的な参加等、貢献の大きい者は加点することがある。		
	学期末に実施する本試験	50%			
	合計	1 0 0 %			
【その他の注意事項】 Others	特になし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	オリエンテーション	この科目の概要とリスクマネジメントを学ぶことの意義について		
		【予習内容】 Preparation	身の回りで「リスク」という言葉を耳にした経験を思い起こし、どんな内容だったかを整理しておく	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No2	リスクマネジメントとは	リスクとは何か、リスクをマネージするとはどういうことか		
		【予習内容】 Preparation	リスクとは何か、リスクをマネージするとはどういうことなのか、web等で調べておく	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No3	リスクを「感じる」	どんなリスクがあるかを予測する		
		【予習内容】 Preparation	交差点やスポーツなど、身の回りでリスクがありそうな場面を想定し、どんなリスクがあるかを考える	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No4	リスクの見きわめ(1)	発生確率を見積もる		
		【予習内容】 Preparation	身の回りのリスクについて、発生確率の大小を考えてみる	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	リスクの見きわめ(2)	ダメージを見積もる		
	【予習内容】 Preparation	リスクが実際に発生してしまった時に想定されるダメージについて考えてみる	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	演習	リスクの優先順位を付ける		
	【予習内容】 Preparation	リスクの優先順位とは何によって決まるのか、考える	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	リスクの対策(1)	リスクの対応方法（予防・ダメージコントロール）について学ぶ		
	【予習内容】 Preparation	リスクの対応にはどんなものがあるか、調べてみる	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	リスクの対策(2)	いまやれる対応と長期的な対策の違いについて学ぶ		
	【予習内容】 Preparation	リスクの対策を、どんな順序で行っていきと良いか、考えてみる	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
No9	演習	論述式の演習により、これまでの学習内容の理解度を自己評価する		
	【予習内容】 Preparation	これまでの学習内容を整理しておく	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
No10	意思決定の基礎	メリットとデメリットの比較		
	【予習内容】 Preparation	なにかを「やる」「やらない」と決めるにはどうしたらよいか考えておく	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分

	No11	リスクマネジメントが未来を拓く	未来のメリットとデメリットをどう比較するか、リスクマネジメントによって未来はどう変えられるのか		
		【予習内容】 Preparation	リスク対策をすることにより「未来が拓ける」とはどういうことか、考えておく	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No12	模擬交渉準備	役割シートをもとに交渉をどう進めるか考える		
		【予習内容】 Preparation	交渉とはどんなことなのか調べてみる	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No13	模擬交渉	役割シートをもとに受講生間で模擬交渉を行い、自らが交渉中にどのように判断したかを振り返る		
		【予習内容】 Preparation	先週の準備内容をよく理解しておく	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分
	No14	まとめ	これまでの授業で学んだことを総括し、学習目標が達成できているかどうかを自己評価する		
		【予習内容】 Preparation	これまでの授業内容を振り返っておく	120	分
		【復習内容】 Review	授業内容を反復し、自分なりに理解する	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)、経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、 経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、 経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、 経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	ベンチャービジネス論 BE-L
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Venture Business
担当教員 Instructor	関口 暁子
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 （実務経験と授業内容の関係）	担当教員は、国内外におけるベンチャー企業において幹部または役員としての実務経験があり、その後15年以上に渡り、起業家や経営者への取材やビジネス分野での書籍執筆の経験を有します。 これらの経験と人脈を活かして、現在も現場で活躍する経営者を招き、ディスカッション形式でベンチャービジネスの実態をわかりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	VUCAの時代と言われている現在、自ら道を切り拓く姿勢が社会から求められています。本講義では、自らの発想やキャリアを活かして経営をおこなうベンチャー起業家の講話や仲間とのグループワークを通じて、自らの頭で考え、問題解決をするために必要なリーダーシップの在り方を学びながら、あらたな時代のリーダーとなる学生の育成を目指します。ベンチャー起業家や創業者（家）をゲストスピーカーに迎え、起業や経営の生の声を聞くまたとない機会を用意しています。 招聘予定のゲストスピーカー（企業名）①管清工業株式会社のチャパッカティーパークス②株式会社玄海③株式会社Fam Lab.（初代ミスSAKE）ほか。							
【到達目標】 Course Objectives	現在、または今後求められているリーダー像とは何かを考え、理解する チームワークの在り方を実践で学ぶ 理解した内容を正しくまとめ、表現するプレゼンテーション能力を身につける							
【履修条件・受講推奨等】 Course Conditions	とくになし							
【教育方法】 Teaching Method	・ 経営者の生の声を聞く ・ 講義形式かゼミ形式での指導を数回行う ・ ディスカッション形式を取り入れた授業を複数回行う ・ 授業内または授業後に毎回レポートを課す							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	参考資料 『日本の下水道を守る！ 地下の勇士たち』関口暁子著 『攻める老舗』関口暁子著 『Catch The Wind！「感謝」が成功を引き寄せる』関口暁子著							
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control	○	思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	授業態度、授業中の質問に対するアンケート回答による評価。	30%	授業態度・発言回数・内容　６５％、最終試験（グループプレゼンテーション）３５％		
	グループワークの参加態度・積極性についての評価。	35%			
	グループワークでの成果物、プレゼンテーションによる評価。	35%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others					
	◇グループワーク演習が一部経営者講話に変更になる場合があります ◇グループ分けを行うため、ガイダンスには必ず出席してください ◇経営者講演は日程変更の可能性あり				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	ガイダンス	本講義の目的と概要／講師紹介／グループ分け 授業でのワークの説明をおこないます		
		【予習内容】 Preparation	本講義で学びたいこと、楽しみにしていることをまとめ、発表できる準備をおこなう	120	分
		【復習内容】 Review	ガイダンスを経て、講義の目的を整理する。	120	分
	No2	経営論①講義	先人たちから学ぶ経営論 講師が触れてきた経営者を含めた先人たちの事例を紹介し、今求められているリーダーシップとは何かを考える		
		【予習内容】 Preparation	ガイダンスにて指定する経営者と企業について下調べをおこなう	120	分
		【復習内容】 Review	講義で学び得たこと、授業中で作成したワークを見直し発表に備える	120	分
	No3	経営者講話① チャバッカティーパークス 三浦健社長（予定）	ゲストスピーカーとして、ベンチャー起業家を招聘。 起業に至るまでのストーリーや、経営哲学などを学ぶ 質疑応答をとおして、できるだけ経営者との対話を深め、最後に学んだことをワークに落とし込む		
		【予習内容】 Preparation	2回目講義にて指定する経営者と企業について下調べ、または教科書の事前読書	120	分
		【復習内容】 Review	講義で学び得たこと、授業中で作成したワークを見直し発表に備える	120	分
	No4	グループワーク演習①	経営者講話①の授業中ならびに復習としてまとめた個人ワークをもとに、グループディスカッションをおこない、グループとしてのワーク発表をおこなう		
		【予習内容】 Preparation	中間発表会に向けて、グループメンバーと研究対象企業の調査や理解を深める	120	分
		【復習内容】 Review	各グループの発表で学んだことをまとめ、成果報告会への活用について思考を深める	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	経営者講話② 管清工業株式会社 長谷川健司社長（予定）	ゲストスピーカーとして、ベンチャー精神あふれる経営者を招聘。 起業に至るまでのストーリーや、経営哲学などを学ぶ 質疑応答をとおして、できるだけ経営者との対話を深め、最後に学んだことをワークに落とし込む		
	【予習内容】 Preparation	4回目講義にて指定する経営者と企業について下調べまたは参考図書の事前読書	120	分
	【復習内容】 Review	講義で学び得たこと、授業中で作成したワークを見直し発表に備える	120	分
	No6			
	グループワーク演習②	経営者講話②授業中ならびに復習としてまとめた個人ワークをもとに、グループディスカッションをおこない、グループとしてのワーク発表をおこなう		
	【予習内容】 Preparation	中間発表会に向けて、グループメンバーと研究対象企業の調査や理解を深める	120	分
	【復習内容】 Review	各グループの発表で学んだことをまとめ、成果報告会への活用について思考を深める	120	分
	No7			
	経営者講話③ 株式会社femlab 初代ミス・SAKE 森田真衣氏（予定）	ゲストスピーカーとして、ベンチャー起業家を招聘。 起業に至るまでのストーリーや、経営哲学などを学ぶ 質疑応答をとおして、できるだけ経営者との対話を深め、最後に学んだことをワークに落とし込む		
	【予習内容】 Preparation	6回目講義にて指定する経営者と企業について下調べまたは参考図書の事前読書	120	分
	【復習内容】 Review	講義で学び得たこと、授業中で作成したワークを見直し発表に備える	120	分
	No8			
	グループワーク演習③	経営者講話③授業中ならびに復習としてまとめた個人ワークをもとに、グループディスカッションをおこない、グループとしてのワーク発表をおこなう		
	【予習内容】 Preparation	中間発表会に向けて、グループメンバーと研究対象企業の調査や理解を深める	120	分
	【復習内容】 Review	各グループの発表で学んだことをまとめ、成果報告会への活用について思考を深める	120	分
No9	中間報告会	成果報告会に向けた内容がどれだけ進捗しているかを互いに発表、講評し合い、ブラッシュアップを図る機会とする		
	【予習内容】 Preparation	中間報告会資料をグループメンバーと議論しまとめる	120	分
	【復習内容】 Review	中間報告での指摘箇所を踏まえて、メンバーとブラッシュアップする要点を掴む	120	分
No10	リーダーシップ論①	これまでのリーダーシップの変遷、現在、未来に求められるリーダーシップ像をその背景とともに解説し、個人・グループワークにて考えをまとめる		
	【予習内容】 Preparation	これまで登壇したゲストスピーカーの講義をふりかえり、共通する点をまとめる	120	分
	【復習内容】 Review	成果報告会向け研究企業とリーダーシップの関係についてメンバーと議論、考察する	120	分

	No11	経営者講話④ 株式会社玄海 矢野賀也社長（予定）	ゲストスピーカーとして、起業家精神あふれる若手経営者を招聘。 現在に至るまでのストーリーや、経営哲学などを学ぶ 質疑応答をとおして、できるだけ経営者との対話を深め、最後に学んだことをワークに 落とし込む		
		【予習内容】 Preparation	10回目講義にて指定する経営者と企業について下調べまたは参考図書 の事前読書	120	分
		【復習内容】 Review	講義で学び得たこと、授業中で作成したワークを見直し発表に備える	120	分
	No12	グループワーク演習④	経営者講話④授業中ならびに復習としてまとめた個人ワークをもとに、グループディス カッションをおこない、グループとしてのワーク発表をおこなう		
		【予習内容】 Preparation	前回授業までの内容を踏まえ、成果報告会に向けたブラッシュアップ を図る	120	分
		【復習内容】 Review	成果報告会に向けて、グループメンバーと研究対象企業の調査や理解 を深める	120	分
	No13	リーダーシップ論②演習	事例を出しながら、自分たちならどう組織運営や経営改善をおこなうかを考える。出し 合ったアイデアについて、ディスカッションをおこない、思考を深める		
		【予習内容】 Preparation	授業中に指定した資料の視聴または読書をおこなう	120	分
		【復習内容】 Review	これまでの講義内容とワーク内容を成果報告会資料に落とし込む	120	分
	No14	グループワーク演習⑤	最終週の成果報告会へ向けた、最終調整とプレゼン練習をグループごとにおこなう		
		【予習内容】 Preparation	成果報告会資料のブラッシュアップ	120	分
		【復習内容】 Review	成果報告会資料のブラッシュアップ	120	分

分野系列 Area of Study	応用科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	プロフェッショナル・セミナーⅣ(メディアミックスイベント) BE-L
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Professional Seminar Ⅳ
担当教員 Instructor	佐野 孝行
必修／選択 Compulsory／Elective	なし
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は、ゲームメーカーにおいて、商品販売戦略や商品化ライセンス業務などマーケティング業務全般を30年従事した経験を有しております。 その実務経験を活かしてメディアミックス理論を分かりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	現代において、一つの作品世界を軸に様々な形でその世界観を共有する表現が、様々なイベントとして組み込まれて行くのが当たり前になっています。アニメ化・テレビドラマ化・映画化にとどまらず、舞台化や脱出ゲーム・謎解きなどのアトラクション化、さらにはVR化など新しいメディアの登場に合わせてメディアミックス展開も広がりをみせています。当授業においては、まず日本におけるメディアミックスの歴史や成り立ち・展開の仕組み・世界観の構築方法・関わる会社やスタッフの仕事の役割などを基礎から学びます。																						
【到達目標】 Course Objectives	【メディアミックスイベントに関する基礎知識を理解する】 メディアミックスの意味や手法を基礎から理解し説明することが出来る メディアミックスイベントの歴史を把握する事で、時代ごとの特徴を知る事が出来る メディアミックスイベントに必要な契約関係や権利関係などの知識を知る事が出来る 【様々なメディアミックスイベントの特徴や構成要素を理解する】 事例を学ぶことにより、成功するためのポイントを理解し説明することが出来る 【メディアミックスイベントを企画する力を身につける】 メディアミックスイベントを自ら計画し提案する事が出来る																						
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	エンターテインメントビジネスに興味があり、その仕組みを知りたいと思っていること																						
【教育方法】 Teaching Method	実務事例や知見をもとに、各テーマにおけるポイントとなる点を重点的に講義する																						
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	教科書は使用せず、授業時に資料を配布する																						
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td>○</td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td></td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td></td><td>主張力 assertiveness</td><td>○</td><td>創造力 creativity</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>							自制力 self-control	○	思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		
自制力 self-control	○	思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance																	
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○																		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	授業への意欲	40	期末レポートの提出は、単位取得にあたって必須要件とします。		
	日々の課題	20			
	期末レポート	40			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	特になし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	イントロダクション	まずはじめにメディアミックスの用語解説と、日本におけるメディアミックスイベント事例の歴史を解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに調査・考察しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120	分
	No2	エンターテインメント業界研究①	映画業界の構造や制作委員会方式の解説と、実写やアニメ映画化におけるメディアミックスイベントの展開事例を解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに調査・考察しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120	分
	No3	エンターテインメント業界研究②	テレビ業界の構造解説と、テレビドラマなどにおけるメディアミックスイベントの展開事例を解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関連する企業のHPなどを確認しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらかじめ収集・確認すること	120	分
	No4	エンターテインメント業界研究③	出版業界の構造解説と、漫画・小説原作のメディアミックスイベントの展開事例を解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関連する企業のHPなどを確認しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらかじめ収集・確認すること	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	エンターテインメント業界研究④-1	日本におけるゲーム業界の構造と歴史解説を行います。		
	【予習内容】 Preparation	テーマに関連する企業のHPなどを確認しておくこと	120	分
	【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	エンターテインメント業界研究④-2	ゲーム原作のメディアミックスイベントの展開事例を解説します。		
	【予習内容】 Preparation	自分の好きな作品の専用サイトなどをあらかじめ確認すること	120	分
	【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	エンターテインメント業界研究④-3	ソーシャルゲームの構造解説とメディアミックスイベントの展開事例解説。日本で行われているメディアミックス展開全般と海外展開の相違点を解説します。		
	【予習内容】 Preparation	テーマに沿ったコンテンツのHPなどを事前に確認しておくこと	120	分
	【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	メディアミックスイベントに必要なノウハウ①	メディアミックス展開に必要なビジネススキームやビジネスモデルを解説します。		
	【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに調査・考察しておくこと	120	分
	【復習内容】 Review	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120	分
No9	メディアミックスイベントに必要なノウハウ②	商品開発に際して行われる契約関係や、各種発生する印税など著作権について解説します。		
	【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに調査・考察しておくこと	120	分
	【復習内容】 Review	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120	分

	No10	メディアミックスイベントに必要なノウハウ③	WEBやSNSなどを利用した配信系サービスのビジネスモデルを解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに調査・考察しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	用語の理解など日常会話で使用出来るまで反芻すること	120	分
	No11	ブランドマネジメント	作品の収益化に関して、シリーズ化戦略やリメイク戦略を交えて解説します。		
		【予習内容】 Preparation	自分の好きな作品の専用サイトなどをあらかじめ確認すること	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No12	エンターテインメント業界研究⑤	芸能プロダクションや声優事務所の歴史や構造解説とともに、メーカー（クライアント）との関係性などを解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに沿った会社のHPなどをあらかじめ確認しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No13	エンターテインメント業界研究⑥	テレビ制作会社やCM制作会社の構造解説とともに、メーカー（クライアント）との関係性などを解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに沿った会社のHPなどをあらかじめ確認しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、関連情報をあらためて収集・確認すること	120	分
	No14	メディアミックスイベントの今後の展望	eスポーツやAR・VRなどのビジネス面での構造解説と、メディアミックスイベントの今後の展望について解説します。		
		【予習内容】 Preparation	テーマに関し自分なりに調査・考察しておくこと	120	分
		【復習内容】 Review	講義を振り返り、自分なりに考察を加えること	120	分

【成績評価・評価上の留意事項 (試験方法、単位修得要件)】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	定期試験	50%	定期試験、グループワークへの取り組み状況の 総合評価となります。		
	課題への取り組み状況	30%			
	グループワークへの参加状況	20%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others					
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	講義のガイダンス	本講義の目的と概要の説明 プロジェクトとは何か 社会の中のプロジェクト		
		【予習内容】 Preparation	配布テキストを用いての予習	120	分
		【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No2	基本的な思考スキル①	問題解決思考の基本 目的と目標 アウトプットとアウトカム 問題解決思考の流れ		
		【予習内容】 Preparation	配布テキストを用いての予習	120	分
		【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No3	クリエイティブ思考①	観察法、アイデアの発想法など、クリエイティブ思考のためのワークショップ		
		【予習内容】 Preparation	配布テキストを用いての予習	120	分
		【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No4	基本的な思考スキル②	問題解決思考の基本 問題解決思考の基本 問題解決のためには、まず課題の把握と、分析が必要となる。そのための基本として 次のテーマでワークを行う。 具体と抽象／一般と特殊 分析・問題解決の様々なフレームワーク		
		【予習内容】 Preparation	配布テキストを用いての予習	120	分
		【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	プロジェクトの基本①	プロジェクトの実施に必要な様々な概念やツールについて学ぶ。 スコープ スケジューリング リソース（人的資源、物的資源、金銭的資源、時間的資源）		
	【予習内容】 Preparation	配布テキストを用いての予習	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	プロジェクトの基本②	プロジェクトの実施に必要な様々な概念やツールについて学ぶ。 プロジェクトの「ヒト」 リーダーシップ、責任と権限、ステークホルダー		
	【予習内容】 Preparation	配布テキストを用いての予習	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	プロジェクトの基本③	プロジェクトの実施に必要な様々な概念やツールについて学ぶ。 PDCAサイクルとは何か？ スケジュールと進捗管理 クリティカルパス		
	【予習内容】 Preparation	配布テキストを用いての予習	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	クリエイティブ思考②	観察法、アイデアの発想法など、クリエイティブ思考のためのワークショップ		
	【予習内容】 Preparation	配布テキストを用いての予習	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No9	プロジェクトに関するケーススタディ	様々なプロジェクトのケーススタディ コンサート、ゲーム開発、イベント、メディア制作などから実例をあげて行う。		
	【予習内容】 Preparation	配布テキストを用いての予習	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
No10	プロジェクトの実践①	これまでに学んだプロジェクトの基本的な考え方やツールを用いて、プロジェクトの立案・遂行の実践的な知識を学ぶ。 プロジェクトのコミュニケーションについて コミュニケーション計画、会議、SNS 議論の方法など		
	【予習内容】 Preparation	配布テキストを用いての予習	120	分
	【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分

	No11	プロジェクトの実践②	これまでに学んだプロジェクトの基本的な考え方やツールを用いて、プロジェクトの立案・遂行の実践的な知識を学ぶ。 複数の要素から判断すべき課題について意思決定するためのツールとして、「戦略的意思決定」を学び、実際の意思決定を行う。		
		【予習内容】 Preparation	配布テキストを用いての予習	120	分
		【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No12	イベント企画立案ワークショップ	これまで学んできた、プロジェクトマネジメントの知識を生かし、実際にイベントを立案するワークショップを行う。		
		【予習内容】 Preparation	配布テキストを用いての予習	120	分
		【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No13	失敗の科学①	失敗を恐れていては、成長も成功もありえない。失敗を自分のエネルギーに変えるための様々な考え方について学ぶ。また、失敗の原因分析の方法論についても学ぶ。		
		【予習内容】 Preparation	配布資料を用いての予習	120	分
		【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分
	No14	失敗の科学②	・発生した失敗のリカバリー法を様々なケースについて学び、失敗への対応力を向上させる。 ・メンタル面での、失敗からの立ち直り方について学び、レジリエンスを向上させる。		
		【予習内容】 Preparation	配布資料を用いての予習	120	分
		【復習内容】 Review	本時講義の復習、関連事項の確認	120	分

分野系列 Area of Study	演習科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	プロフェッショナル・セミナーⅣ（A・Iデータサイエンス） BE-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Professional Seminar IV
担当教員 Instructor	福田 宏幸
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 （実務経験と授業内容の関係）	担当教員は、企業で10年以上のデータサイエンス・AIの実務の経験を有します。その経験を活かし、企業の実務事例をリアルに伝え、演習なども交えた実践的な講義を実施しています。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	近年、AIやデータサイエンスは、あらゆる業種・分野で活用されており、生活やビジネスにおいて必要不可欠なものになっています。その為、これらの基礎知識や概念を習得する事は、AIエンジニアやデータサイエンティストを志す学生だけでなく、すべての学生にとって大変重要です。この講義では、AI・データサイエンスの理解に必要な知識を、初学者向けに、具体的事例を通じて分かりやすく伝えます。（特に、数学やプログラミングの知識は必要としません。）また、演習を通して、実際にどういう仕組みで動いているのかを体験します。実務で得られた経験やエピソードもお伝えします。							
【到達目標】 Course Objectives	AI・データサイエンスが社会にもたらすメリットを理解し、その必要性を説明できる。 AI・データサイエンスとはどういうものかを、具体的な事例を示しながら説明できる。 AI・データサイエンスの可能性と限界を理解する。							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	数学やプログラミングの知識は不要ですが、AI・データサイエンスへの興味がある事。							
【教育方法】 Teaching Method	講義および、演習・グループディスカッションを中心とします。							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	オリジナルスライドを使用する為、教科書は使用しません。							
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance	
	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○		

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	AI・データサイエンスが社会にもたらすメリットを理解し、その必要性を説明できる。	40%	最終試験50% ミニレポート50% 出席（3分の2以上）		
	AI・データサイエンスとはどういうものかを、具体的な事例を示しながら説明できる。	40%			
	AI・データサイエンスの可能性と限界を理解する。	20%			
	合計		100%		
【その他の注意事項】 Others	特になし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	なぜ、AI・データサイエンスが必要か？	Society 5.0等の社会的背景を踏まえながら、AI・データサイエンスの必要性について理解します。また、自分が何の為にAI・データサイエンスを学ぶのかを考え、講義全体の目標を立てます。		
		【予習内容】 Preparation	シラバスの精読	120	分
		【復習内容】 Review	レポート：本講義に期待すること	120	分
	No2	データの重要性と種類	AIもデータサイエンスも、データが無ければ成立しません。"Data is the new oil."と言われる様な、データの重要性について述べます。そして、構造化・非構造化等、様々なデータの種類についても説明します。		
		【予習内容】 Preparation	世の中で使われているデータを調べる	120	分
		【復習内容】 Review	レポート：データの重要性について	120	分
	No3	データサイエンスとは？	具体的事例を通じて、データサイエンスとは何かを示します。クラスタリングや回帰分析等、実務で良く使われる様々なデータサイエンスの手法についても説明します。		
		【予習内容】 Preparation	データサイエンスの活用事例を調べる	120	分
		【復習内容】 Review	レポート：データサイエンスの手法について	120	分
	No4	統計の基礎	平均や分散、相関、仮説検定等、データ分析に必要な統計の基礎知識について説明します。		
		【予習内容】 Preparation	統計について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	レポート：身近なデータの統計量を求める	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	マーケティングデータ	データサイエンスの活用事例として、マーケティングにおける顧客データ分析等の事例を紹介します。	
	【予習内容】 Preparation	マーケティングにおけるデータサイエンス事例を調べる	120分
	【復習内容】 Review	レポート：マーケティングデータ分析について	120分
	データサイエンス演習	実際に自分で手を動かしながら、Excelでデータ分析を行い、データサイエンスについて理解を深めます。	
	【予習内容】 Preparation	Excelの使い方について調べる	120分
	【復習内容】 Review	レポート：データサイエンス演習について	120分
	AI・データサイエンスの現場	AI・データサイエンスの実際の業務について事例を紹介します。	
	【予習内容】 Preparation	データサイエンスの実務について調べる	120分
	【復習内容】 Review	レポート：これまでの講義に対する感想	120分
	AIとは？	具体的事例を通じて、AIとは何かを示します。画像、テキスト、音声等、様々なAIの種類についても説明します。	
	【予習内容】 Preparation	AIの活用事例を調べる	120分
	【復習内容】 Review	レポート：AIの手法について	120分
No9	画像AI	最もポピュラーなAIである画像認識の仕組みと活用事例を説明します。StableDiffusion等の最近の画像生成AIについても紹介します。	
	【予習内容】 Preparation	画像AIの事例を調べる	120分
	【復習内容】 Review	レポート：画像AIについて	120分
No10	テキストAI	自然言語処理等、テキストに関するAIの仕組みと活用事例を説明します。ChatGPT等の最近のテキスト生成AIについても紹介します。	
	【予習内容】 Preparation	テキストAIの事例を調べる	120分
	【復習内容】 Review	レポート：テキストAIについて	120分

	No11	Pythonプログラミング	実体としては、AIは、プログラム的一种にすぎません。その事を理解する為に、AIの開発で一般的に使われているプログラミング言語「Python」について解説します。		
		【予習内容】 Preparation	Pythonについて調べる	120	分
		【復習内容】 Review	レポート：Pythonプログラミングについて	120	分
	No12	AI演習	実際にAIの画像認識プログラムを動かしてみる事で、AIに対する理解を深めます。		
		【予習内容】 Preparation	ディープラーニングについて調べる	120	分
		【復習内容】 Review	レポート：AI演習について	120	分
	No13	法律・倫理・プライバシー	AI・データサイエンスによって生活やビジネスがどう変革するか。過去の事例を見ながら、未来について議論します。		
		【予習内容】 Preparation	AIの著作権について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	レポート：AI・データサイエンスが持つ課題について	120	分
	No14	AI・データサイエンスと未来	AI・データサイエンスによって生活やビジネスがどう変革するか。過去の事例を見ながら、未来について議論します。		
		【予習内容】 Preparation	AI・データサイエンスのイノベーション事例について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	レポート：AI・データサイエンスの未来について	120	分

分野系列 Area of Study	選択科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2024)、経営学部 イベント(留学2024)、経営学部 イベント(2024)、経営学部 経営学科(2024)、経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	A I ・ データサイエンス BE-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	AI Data Science
担当教員 Instructor	福田 宏幸
必修／選択 Compulsory / Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は、企業で10年以上のデータサイエンス・AIの実務の経験を有します。その経験を活かし、企業の実務事例をリアルに伝え、演習なども交えた実践的な講義を実施しています。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	近年、AIやデータサイエンスは、あらゆる業種・分野で活用されており、生活やビジネスにおいて必要不可欠なものになっています。その為、これらの基礎知識や概念を習得する事は、AIエンジニアやデータサイエンティストを志す学生だけでなく、すべての学生にとって大変重要です。この講義では、AI・データサイエンスの理解に必要な知識を、初学者向けに、具体的事例を通じて分かりやすく伝えます。（特に、数学やプログラミングの知識は必要としません。）また、演習を通して、実際にどういう仕組みで動いているのかを体験します。実務で得られた経験やエピソードもお伝えします。									
【到達目標】 Course Objectives	AI・データサイエンスが社会にもたらすメリットを理解し、その必要性を説明できる。									
	AI・データサイエンスとはどういうものかを、具体的な事例を示しながら説明できる。									
	AI・データサイエンスの可能性と限界を理解する。									
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	数学やプログラミングの知識は不要ですが、AI・データサイエンスへの興味がある事。									
【教育方法】 Teaching Method	講義および、演習・グループディスカッションを中心とします。									
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	オリジナルスライドを使用する為、教科書は使用しません。									
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance			
	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity	○				

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	AI・データサイエンスが社会にもたらすメリットを理解し、その必要性を説明できる。	40%	最終試験50% ミニレポート50% 出席（3分の2以上）		
	AI・データサイエンスとはどういうものかを、具体的な事例を示しながら説明できる。	40%			
	AI・データサイエンスの可能性と限界を理解する。	20%			
	合計		100%		
【その他の注意事項】 Others	特になし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	なぜ、AI・データサイエンスが必要か？	Society 5.0等の社会的背景を踏まえながら、AI・データサイエンスの必要性について理解します。また、自分が何の為にAI・データサイエンスを学ぶのかを考え、講義全体の目標を立てます。		
		【予習内容】 Preparation	シラバスの精読	120	分
		【復習内容】 Review	レポート：本講義に期待すること	120	分
	No2	データの重要性と種類	AIもデータサイエンスも、データが無ければ成立しません。"Data is the new oil."と言われる様な、データの重要性について述べます。そして、構造化・非構造化等、様々なデータの種類についても説明します。		
		【予習内容】 Preparation	世の中で使われているデータを調べる	120	分
		【復習内容】 Review	レポート：データの重要性について	120	分
	No3	データサイエンスとは？	具体的事例を通じて、データサイエンスとは何かを示します。クラスタリングや回帰分析等、実務で良く使われる様々なデータサイエンスの手法についても説明します。		
		【予習内容】 Preparation	データサイエンスの活用事例を調べる	120	分
		【復習内容】 Review	レポート：データサイエンスの手法について	120	分
	No4	統計の基礎	平均や分散、相関、仮説検定等、データ分析に必要な統計の基礎知識について説明します。		
		【予習内容】 Preparation	統計について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	レポート：身近なデータの統計量を求める	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	マーケティングデータ	データサイエンスの活用事例として、マーケティングにおける顧客データ分析等の事例を紹介します。		
	【予習内容】 Preparation	マーケティングにおけるデータサイエンス事例を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	レポート：マーケティングデータ分析について	120	分
	データサイエンス演習	実際に自分で手を動かしながら、Excelでデータ分析を行い、データサイエンスについて理解を深めます。		
	【予習内容】 Preparation	Excelの使い方について調べる	120	分
	【復習内容】 Review	レポート：データサイエンス演習について	120	分
	AI・データサイエンスの現場	AI・データサイエンスの実際の業務について事例を紹介します。		
	【予習内容】 Preparation	データサイエンスの実務について調べる	120	分
	【復習内容】 Review	レポート：これまでの講義に対する感想	120	分
	AIとは？	具体的事例を通じて、AIとは何かを示します。画像、テキスト、音声等、様々なAIの種類についても説明します。		
	【予習内容】 Preparation	AIの活用事例を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	レポート：AIの手法について	120	分
No9	画像AI	最もポピュラーなAIである画像認識の仕組みと活用事例を説明します。StableDiffusion等の最近の画像生成AIについても紹介します。		
	【予習内容】 Preparation	画像AIの事例を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	レポート：画像AIについて	120	分
No10	テキストAI	自然言語処理等、テキストに関するAIの仕組みと活用事例を説明します。ChatGPT等の最近のテキスト生成AIについても紹介します。		
	【予習内容】 Preparation	テキストAIの事例を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	レポート：テキストAIについて	120	分

	No11	Pythonプログラミング	実体としては、AIは、プログラム的一种にすぎません。その事を理解する為に、AIの開発で一般的に使われているプログラミング言語「Python」について解説します。		
		【予習内容】 Preparation	Pythonについて調べる	120	分
		【復習内容】 Review	レポート：Pythonプログラミングについて	120	分
	No12	AI演習	実際にAIの画像認識プログラムを動かしてみる事で、AIに対する理解を深めます。		
		【予習内容】 Preparation	ディープラーニングについて調べる	120	分
		【復習内容】 Review	レポート：AI演習について	120	分
	No13	法律・倫理・プライバシー	AI・データサイエンスによって生活やビジネスがどう変革するか。過去の事例を見ながら、未来について議論します。		
		【予習内容】 Preparation	AIの著作権について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	レポート：AI・データサイエンスが持つ課題について	120	分
	No14	AI・データサイエンスと未来	AI・データサイエンスによって生活やビジネスがどう変革するか。過去の事例を見ながら、未来について議論します。		
		【予習内容】 Preparation	AI・データサイエンスのイノベーション事例について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	レポート：AI・データサイエンスの未来について	120	分

分野系列 Area of Study	演習科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	プロフェッショナル・セミナーⅣ(将棋) BE-N
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Professional Seminar IV
担当教員 Instructor	堀口 弘治
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	30年以上にわたる現役棋士生活と、4人の女流棋士の師匠として育成に携った経験から、将棋の学習を通じたソーシャルスキル育成プログラムを展開する。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	将棋のゲームとしての面白さ・奥深さはもちろん、伝統文化としての位置付けとして、世界における日本、日本文化自体を興味深く紹介していきます。 また将棋は次の一手を誰にも頼らず盤面の情報処理をして、自分なりに結論を出していくプロセスの連続です。対局の実技のみならず、授業全般にわたっても「自分の頭で考える」をテーマに展開していきます。							
【到達目標】 Course Objectives	実技対局に集中することにより、じっくり考える楽しみを知る 課題やレポートに取り組み、自分が納得するまで考える力を養う 将棋の考え方を通じて、論理的な思考や情報処理における、直観の働かせ方ならびに視野の広さなど社会人としての不可欠な資質を養う							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	講義内容ならびに提出物に真摯に取り組むこと。遅刻・欠席日数を最小限に止めること							
【教育方法】 Teaching Method	対面講義（主にビデオ鑑賞ならびにPP使用）・大盤解説・学生同士の実技対局・課題提出							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	私製の教科書ならびにプリント配布を行う							
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control	○	思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance	○
	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity			

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	提出物	70%	※試験はありません。毎回の講義の得点の累積となります。欠席日数は当大学の基準内が単位修得最低要件となります。※将棋強さは基本的に成績に関係ありません。		
	対局数ならびにトーナメント結果	30%			
		合計	100%		
【その他の注意事項】 Others	参加学生の将棋の棋力・理解力、将棋界の講義期間中の話題によってカリキュラムを変更することがある				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	第1回 ガイダンス	講義概要、評価方法についての説明 アンケート実施、駒遊びⅠ 五角形の駒で様々な遊び方を創造できることを知る		
		【予習内容】 Preparation	将棋のルールや将棋連盟のHPをチェックする	120	分
		【復習内容】 Review	配布された教科書【私製】や将棋連盟のパンフレットで学習範囲を確認する	120	分
	No2	第2回 駒遊びⅡ	戦略を伴う駒遊びを実施し、第1回の駒遊びとの相違点を考察する 【二人零和有限確定完全情報ゲーム】の説明 飛角将棋（飛角で王を追いつめる）の実施		
		【予習内容】 Preparation	飛車と角と王の動き方をチェックし将棋アプリで練習する	120	分
		【復習内容】 Review	配布された教科書内の学習範囲を確認する	120	分
	No3	第3回 現代の将棋界と日本の将棋の歴史の説明	【講義】 将棋界のスーパースター羽生善治ビデオを鑑賞し、棋士の将棋に対する考え方を学ぶ。 PPで現代の将棋界の話題や日本将棋連盟の仕組み、ならびに日本における将棋の歴史を説明する。 【実技】 歩の使い方を説明後、飛角歩将棋Ⅰを実施、相手の駒を取る・持ち駒を打つことを学習する		
		【予習内容】 Preparation	飛角王に加えて歩の動き方をチェックし将棋アプリで練習する	120	分
		【復習内容】 Review	配布された教科書内の学習範囲を確認する	120	分
	No4	第4回 将棋の謎1	【講義】 将棋七不思議前半のビデオを鑑賞し、将棋の謎とその解明を知る。 【実技】 成る・打つ・反則を説明後、飛角歩将棋2を実施する		
		【予習内容】 Preparation	飛角王歩の動き方に加えて成る・打つ等の基本ルールをチェックし将棋アプリで練習する	120	分
		【復習内容】 Review	学習範囲を確認する	120	分

No5	第5回 女性と将棋	【講義】 女性の将棋の歴史を江戸時代から現在の女流棋士制度の設立とその活躍を説明する。 【実技】 飛角金将棋を実施する		
	【予習内容】 Preparation	飛角王歩の動き方に加えて金の動き方をチェックし将棋アプリで練習する	120	分
	【復習内容】 Review	学習範囲を確認する	120	分
	第6回 将棋の謎Ⅱ	【講義】 将棋七不思議後半のビデオを鑑賞し、将棋の謎とその解明を知る。 金銀入れ替えパズルの課題プリント配布 【実技】 飛角金銀将棋を実施する		
	【予習内容】 Preparation	飛車角金王歩の動き方に加えて銀の動きをチェックし将棋アプリで練習する	120	分
	【復習内容】 Review	学習範囲を確認する	120	分
	第7回 偉人の愛した将棋	【講義】 偉人の愛した将棋のビデオを鑑賞し、将棋の歴史をさらに深く知る。 飛角金銀ミックス入れ替えパズルの課題プリント配布 【実技】 飛角金銀桂香将棋を実施する		
	【予習内容】 Preparation	飛車角金銀王歩の動き方に加えて桂・香の動きをチェックし将棋アプリで練習する。	120	分
	【復習内容】 Review	飛車角金銀王歩の動き方に加えて桂・香の動きをチェックし将棋アプリで練習する。	120	分
	第8回 青空将棋1	【講義】 第6回金の銀入れ替えパズルの解答ならびに詰将棋①配布 【実技】 青空将棋1（通常の将棋から歩を取り除いて始める）を実施し多くの駒を動かすことを体験する 詰みの三条件を示す		
	【予習内容】 Preparation	将棋アプリで青空将棋を練習する	120	分
	【復習内容】 Review	学習範囲を確認する 課題のプリントに取り組む	120	分
No9	第9回 天童の人間将棋と伝統の駒作り	【講義】 天童の人間将棋ならびに伝統の駒作りのビデオと高級駒を実際に鑑賞する 第7回の飛角金銀ミックス入れ替えパズルの解答ならびに詰将棋②配布 【実技】 青空将棋Ⅱ（通常の将棋から歩を取り除いて始める）前回の青空将棋を大盤で 講師がより深く重要なポイントを説明後 取る・成る・打つことが頻繁に行われ、 ルールの習得が促進されるとともに、歩のない将棋を指すことによって、歩の大切さを 体験させる		
	【予習内容】 Preparation	将棋アプリで青空将棋を練習する。伝統の駒作りの資料（教科書掲載）を確認する	120	分
	【復習内容】 Review	学習範囲を確認する 課題のプリントに取り組む	120	分
No10	第10回 プロ棋士の礼儀作法と伝統の将棋盤作り	【講義】 伝統の将棋盤作りのビデオの鑑賞 木材の性質、加工の文化を学ぶ 第8回の詰将棋①の解答配布 【実技】 平手将棋の実施 プロ棋士の礼儀作法をデモの後、平手将棋（すべての駒を使用する通常の将棋）を自由に指させる		
	【予習内容】 Preparation	将棋アプリで平手将棋を練習する	120	分
	【復習内容】 Review	学習範囲を確認する	120	分

	No11	第11回 将棋強さとは	【講義】『将棋強さとは何か』をPPで解説し、対局の上で重要な指針となる形勢判断基準を学ぶ 第9回の詰将棋②の解答配布 【実技】平手将棋の相棒銀戦法（教科書掲載）の大盤解説ならびに実技対局を実施する		
		【予習内容】 Preparation	将棋アプリで棒銀戦法を練習する	120	分
		【復習内容】 Review	学習範囲を確認する	120	分
	No12	第12回 居飛車対四間飛車戦法	【実技】平手将棋の居飛車対四間飛車戦法（教科書掲載）の大盤解説ならびに実技対局ならびに棋譜書きを実施する		
		【予習内容】 Preparation	将棋アプリで四間飛車戦法を練習、棋譜の取り方（教科書掲載）を確認する	120	分
		【復習内容】 Review	学習範囲を確認する	120	分
	No13	第13回 世界の将棋	【講義】世界の将棋（教科書掲載）をPPならびに実物の鑑賞しながら解説する。 【実技】高段者同士の対局を大盤で解説しながら、受講者は次の一手予想で参加する。 寄せ合い将棋ならびに寄せ合い美濃将棋（教科書掲載）の大盤解説ならびに実技対局を実施する 玉の捕まえ方のコツを将棋の格言を通じて学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	世界の将棋（教科書掲載）項を確認する。将棋アプリで玉の寄せ方を練習する	120	分
		【復習内容】 Review	学習範囲を確認する。世界の将棋講義をうけた感想文をまとめる（後日コースパワーで提出）	120	分
	No14	第14回 将棋大会	大会のイベントのうち 本将棋・回り将棋トーナメント・詰将棋ならびにパズル解答競争のいずれかに参加する		
		【予習内容】 Preparation	それぞれ事前に参加予定の種目の練習をする	120	分
		【復習内容】 Review	参加種目における、感想文をまとめ提出する	120	分

分野系列 Area of Study	演習科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	文化教養特講Ⅱ(将棋) BE-N
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Cultural Education Special Lecture Ⅱ
担当教員 Instructor	堀口 弘治
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	30年以上にわたる現役棋士生活と、4人の女流棋士の師匠として育成に携った経験から、将棋の学習を通じたソーシャルスキル育成プログラムを展開する。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	将棋のゲームとしての面白さ・奥深さはもちろん、伝統文化としての位置付けとして、世界における日本、日本文化自体を興味深く紹介していきます。また将棋は次の一手を誰にも頼らず盤面の情報処理をして、自分なりに結論を出していくプロセスの連続です。対局の実技のみならず、授業全般にわたっても「自分の頭で考える」をテーマに展開していきます。
【到達目標】 Course Objectives	実技対局に集中することにより、じっくり考える楽しみを知る 課題やレポートに取り組み、自分が納得するまで考える力を養う 将棋の考え方を通じて、論理的な思考や情報処理における、直観の働かせ方ならびに視野の広さなど社会人としての不可欠な資質を養う
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	講義内容ならびに提出物に真摯に取り組むこと。遅刻・欠席日数を最小限に止めること
【教育方法】 Teaching Method	対面講義（主にビデオ鑑賞ならびにPP使用）・大盤解説・学生同士の実技対局・課題提出
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	私製の教科書ならびにプリント配布を行う

【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control	○	思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance	○
	協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness		創造力 creativity			

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法	
	提出物	70%	※試験はありません。毎回の講義の得点の累積となります。欠席日数は当大学の基準内が単位修得最低要件となります。※将棋強さは基本的に成績に関係ありません。	
	対局数ならびにトーナメント結果	30%		
	合計	100%		

【その他の注意事項】 Others	参加学生の将棋の棋力・理解力、将棋界の講義期間中の話題によってカリキュラムを変更することがある
----------------------	---

【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
No1	第1回 ガイダンス	講義概要、評価方法についての説明 アンケート実施、駒遊びⅠ 五角形の駒で様々な遊び方を創造できることを知る		
	【予習内容】 Preparation	将棋のルールや将棋連盟のHPをチェックする	120	分
	【復習内容】 Review	配布された教科書【私製】や将棋連盟のパンフレットで学習範囲を確認する	120	分
No2	第2回 駒遊びⅡ	戦略を伴う駒遊びを実施し、第1回の駒遊びとの相違点を考察する 【二人零和有限確定完全情報ゲーム】の説明 飛角将棋（飛角で王を追い詰める）の実施		
	【予習内容】 Preparation	飛車と角と王の動き方をチェックし将棋アプリで練習する	120	分
	【復習内容】 Review	配布された教科書内の学習範囲を確認する	120	分
No3	第3回 現代の将棋界と日本の将棋の歴史の説明	【講義】 将棋界のスーパースター羽生善治ビデオを鑑賞し、棋士の将棋に対する考え方を学ぶ。 PPで現代の将棋界の話題や日本将棋連盟の仕組み、ならびに日本における将棋の歴史を説明する。 【実技】 歩の使い方を説明後、飛角歩将棋Iを実施、相手の駒を取る・持ち駒を打つことを学習する		
	【予習内容】 Preparation	飛角王に加えて歩の動き方をチェックし将棋アプリで練習する	120	分
	【復習内容】 Review	配布された教科書内の学習範囲を確認する	120	分

No4	第4回 将棋の謎1	【講義】 将棋七不思議前半のビデオを鑑賞し、将棋の謎とその解明を知る。 【実技】 成る・打つ・反則を説明後、飛角歩将棋2を実施する		
	【予習内容】 Preparation	飛角王歩の動き方に加えて成る・打つ等の基本ルールをチェックし将棋アプリで練習する	120	分
	【復習内容】 Review	学習範囲を確認する	120	分
	第5回 女性と将棋	【講義】 女性の将棋の歴史を江戸時代から現在の女流棋士制度の設立とその活躍を説明する。 【実技】 飛角金将棋を実施する		
	【予習内容】 Preparation	飛角王歩の動き方に加えて金の動き方をチェックし将棋アプリで練習する	120	分
	【復習内容】 Review	学習範囲を確認する	120	分
	第6回 将棋の謎Ⅱ	【講義】 将棋七不思議後半のビデオを鑑賞し、将棋の謎とその解明を知る。 金銀入れ替えパズルの課題プリント配布 【実技】 飛角金銀将棋を実施する		
	【予習内容】 Preparation	飛車角金王歩の動き方に加えて銀の動きをチェックし将棋アプリで練習する	120	分
	【復習内容】 Review	学習範囲を確認する	120	分
	第7回 偉人の愛した将棋	【講義】 偉人の愛した将棋のビデオを鑑賞し、将棋の歴史をさらに深く知る。 飛角金銀ミックス入れ替えパズルの課題プリント配布 【実技】 飛角金銀桂香将棋を実施する		
	【予習内容】 Preparation	飛車角金銀王歩の動き方に加えて桂・香の動きをチェックし将棋アプリで練習する。	120	分
	【復習内容】 Review	飛車角金銀王歩の動き方に加えて桂・香の動きをチェックし将棋アプリで練習する。	120	分
No8	第8回 青空将棋1	【講義】 第6回金の銀入れ替えパズルの解答ならびに詰将棋①配布 【実技】 青空将棋1（通常の将棋から歩を取り除いて始める）を実施し多くの駒を動かすことを体験する 詰みの三条件を示す		
	【予習内容】 Preparation	将棋アプリで青空将棋を練習する	120	分
	【復習内容】 Review	学習範囲を確認する 課題のプリントに取り組む	120	分

	No9	第9回 天童の人間将棋と伝統の駒作り	【講義】 天童の人間将棋ならびに伝統の駒作りのビデオと高級駒を実際に鑑賞する 第7回の飛角金銀ミックス入れ替えパズルの解答ならびに詰将棋②配布 【実技】 青空将棋Ⅱ（通常の将棋から歩を取り除いて始める）前回の青空将棋を大盤で 講師がより深く重要なポイントを説明後 取る・成る・打つことが頻繁に行われ、 ルールの習得が促進されるとともに、歩のない将棋を指すことによって、歩の大切さ 体験させる		
		【予習内容】 Preparation	将棋アプリで青空将棋を練習する。伝統の駒作りの資料（教科書掲載）を確認する	120	分
		【復習内容】 Review	学習範囲を確認する 課題のプリントに取り組む	120	分
	No10	第10回 プロ棋士の礼儀作法と伝統の将棋盤作り	【講義】 伝統の将棋盤作りのビデオの鑑賞 木材の性質、加工の文化を学ぶ 第8回の詰将棋①の解答配布 【実技】 平手将棋の実施 プロ棋士の礼儀作法をデモの後、平手将棋（すべての駒を 使用する通常の将棋）を自由に指させる		
		【予習内容】 Preparation	将棋アプリで平手将棋を練習する	120	分
		【復習内容】 Review	学習範囲を確認する	120	分
	No11	第11回 将棋強さとは	【講義】 『将棋強さとは何か』をPPで解説し、対局の上で重要な指針となる形勢判断基準を学ぶ 第9回の詰将棋②の解答配布 【実技】 平手将棋の相棒銀戦法（教科書掲載）の大盤解説ならびに実技対局を実施する		
		【予習内容】 Preparation	将棋アプリで棒銀戦法を練習する	120	分
		【復習内容】 Review	学習範囲を確認する	120	分
	No12	第12回 居飛車対四間飛車戦法	【実技】 平手将棋の居飛車対四間飛車戦法（教科書掲載）の大盤解説ならびに実技対局ならびに棋譜書きを実施する		
		【予習内容】 Preparation	将棋アプリで四間飛車戦法を練習、棋譜の取り方（教科書掲載）を確認する	120	分
		【復習内容】 Review	学習範囲を確認する	120	分
	No13	第13回 世界の将棋	【講義】 世界の将棋（教科書掲載）をPPならびに実物の鑑賞しながら解説する。 【実技】 高段者同士の対局を大盤で解説しながら、受講者は次の一手予想で参加する。 寄せ合い将棋ならびに寄せ合い美濃将棋（教科書掲載）の大盤解説ならびに実技対局を実施する 玉の捕まえ方のコツを将棋の格言を通じて学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	世界の将棋（教科書掲載）項を確認する。将棋アプリで玉の寄せ方を練習する	120	分
		【復習内容】 Review	学習範囲を確認する。世界の将棋講義をうけた感想文をまとめる（後日コースパワーで提出）	120	分

	No14	第14回 将棋大会	大会のイベントのうち 本将棋・回り将棋トーナメント・詰将棋ならびにパズル解答競争のいずれかに参加する		
		【予習内容】 Preparation	それぞれ事前に参加予定の種目の練習をする	120	分
		【復習内容】 Review	参加種目における、感想文をまとめ提出する	120	分

分野系列 Area of Study	選択科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)
配当学年（履修対象） Year of Study	3 年
講義名 Name of Subject	就職特講 BE-M
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Special Seminar for Job Seeking
担当教員 Instructor	宮地 由夏
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 （実務経験と授業内容の関係）	企業の研修企画・実施及びキャリアコンサルタントとしての実務経験をもとに、将来を見据えたキャリア構築の重要性の認識と就職への意識付けの教育を、グループワークを多用し実践的に行う。

【授業概要・本科目で取り扱う テーマ】 Course Description	長期化する厳選採用と働き方の多様化に伴い、大学生の就職に当たっては早い段階での主体的行動が求められようになってきました。本講義では、雇用環境の変化とキャリア形成の考え方を理解すると共に履歴書やエントリーシートの書き方、業界・企業・職種研究、筆記試験・面接・グループワーク対策など、進路決定に直接役立つ知識の習得と演習を進めていきます。業界研究セミナーや内定者報告会等も実施し、臨場感ある準備講座を展開します。																																					
【到達目標】 Course Objectives	日本企業における雇用慣行、就職活動の仕組み、基本的なワークルールについて理解する 「働くこと」への理解を深め、社会人としてのふるまい、言動、マナーを身につける 自己理解・自己分析を深めるとともに、数多くある選択肢の中から、自らの職業適性を知る																																					
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	3年生で主に民間企業等への就職を考えている学生																																					
【教育方法】 Teaching Method	講義及び個人、グループワーク																																					
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	講義資料およびワークシートは随時配布する																																					
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td></td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td></td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td>○</td><td>主張力 assertiveness</td><td>○</td><td>創造力 creativity</td><td></td><td colspan="2"></td></tr></table>										自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity															
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance																																
協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity																																		
【成績評価・評価上の留意事項 (試験方法、単位修得要件)】 Evaluation	<table><tr><th colspan="4">評価項目と割合</th><th colspan="2">評価方法</th></tr><tr><td colspan="4">受講態度</td><td>70%</td><td colspan="2" rowspan="4">職業意識の形成と卒業後の社会人基礎力の向上を目的とすることから、出席評価（取り組み姿勢・参加態度含む）70%、レポートおよび提出物評価30%。</td></tr><tr><td colspan="4">課題提出物による授業理解度</td><td>30%</td></tr><tr><td colspan="4"></td><td></td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法		受講態度				70%	職業意識の形成と卒業後の社会人基礎力の向上を目的とすることから、出席評価（取り組み姿勢・参加態度含む）70%、レポートおよび提出物評価30%。		課題提出物による授業理解度				30%						合計				100%
評価項目と割合				評価方法																																		
受講態度				70%	職業意識の形成と卒業後の社会人基礎力の向上を目的とすることから、出席評価（取り組み姿勢・参加態度含む）70%、レポートおよび提出物評価30%。																																	
課題提出物による授業理解度				30%																																		
合計				100%																																		

【その他の注意事項】 Others	本講義は連続性があるため、一度の欠席が大きなハンデとなることもあります。 また社会人となるための準備講座のため、講義のルール及びマナーを守って受講するようお願いします。 講義内容は変更の可能性があります。その際は随時講義内でお知らせします。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	オリエンテーション	就職活動を始めるにあたって考えるべきこと (雇用環境とデータで見る学卒者就職の現状、正規・非正規雇用の違い等)		
		【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分
	No2	協働力の実践	テーマに基づきチームでプレゼンテーションを企画する中で、企業活動を理解すると共に自己理解を図る		
		【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	プレゼンテーション作成のための調査	120	分
	No3	協働力の実践	テーマに基づきチームでプレゼンテーションを企画する中で、企業活動を理解すると共に自己理解を図る		
		【予習内容】 Preparation	プレゼンテーション作成のための調査	120	分
		【復習内容】 Review	プレゼンテーション作成のための調査	120	分
	No4	協働力の実践	チームプレゼンテーション発表		
		【予習内容】 Preparation	チームプレゼンテーション発表準備	120	分
		【復習内容】 Review	振り返り	120	分
	No5	自己理解	・チームプレゼンテーションの振り返り ～集団の中での役割、行動特性を理解する ・学生時代頑張ったこと ～書き方の理解及び作成		
		【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	ワークシートの作成	120	分
	No6	自己理解	就職の軸		
		【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No7	合同企業説明会	合同企業説明会		
	【予習内容】 Preparation	参加企業研究	120	分
	【復習内容】 Review	振り返り	120	分
	志望先の選定 I	業界、職種理解		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分
	志望先の選定 II	業界情報の捉え方、情報の取捨選択について、求人票の見方を理解する		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分
	選考対策 I	想定業界、企業での志望動機作成		
	【予習内容】 Preparation	企業研究	120	分
	【復習内容】 Review	ワークシート作成	120	分
No11	選考対策 II	多様なエントリーシートへの対応		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分
	選考対策 III	面接対策、マナー実習		
No12	【予習内容】 Preparation	予習教材の視聴	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分

	No13	内定者報告会	内定者報告会		
		【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分
	No14	活動計画策定	・グループディスカッション対策 ・活動計画策定		
		【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分

分野系列 Area of Study	選択科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)
配当学年（履修対象） Year of Study	3 年
講義名 Name of Subject	就職特講 BE-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Special Seminar for Job Seeking
担当教員 Instructor	野沢 牧子
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	企業の人事部およびキャリアコンサルタントとしての実務経験をもとに、進路決定の考え方と就業力を身に付けるための教育を、グループワークやロールプレイを多用し実践的に行っている

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	長期化する厳選採用と働き方の多様化に伴い、大学生の就職に当たっては早い段階での主体的行動が求められようになってきました。本講義では、雇用環境の変化とキャリア形成の考え方を理解すると共に履歴書やエントリーシートの書き方、業界・企業・職種研究、筆記試験・面接・グループワーク対策など、進路決定に直接役立つ知識の習得と演習を進めていきます。業界研究セミナーや内定者報告会等も実施し、臨場感ある準備講座を展開します。										
【到達目標】 Course Objectives	日本企業における雇用慣行、就職活動の仕組み、基本的なワークルールについて理解する 「働くこと」への理解を深め、社会人としてのふるまい、言動、マナーを身につける 自己理解・自己分析を深めるとともに、数多くある選択肢の中から、自らの職業適性を知る										
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	3年生で主に民間企業等への就職を考えている学生										
【教育方法】 Teaching Method	講義及び個人、グループワーク										
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	講義資料およびワークシートは随時配布する										
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance				
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity						
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合						評価方法				
	受講態度							職業意識の形成と卒業後の社会人基礎力の向上を目的とすることから、出席評価（取り組み姿勢・参加態度含む）70%、レポートおよび提出物評価30%。			
	課題提出物による授業理解度										
	合計						100%				

【その他の注意事項】 Others	本講義は連続性があるため、一度の欠席が大きなハンデとなることもあります。 また社会人となるための準備講座のため、講義のルール及びマナーを守って受講するようにお願いします。 講義内容は変更の可能性があります。その際は随時講義内でお知らせします。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	オリエンテーション	就職活動を始めるにあたって考えるべきこと (雇用環境とデータで見る学卒者就職の現状、正規・非正規雇用の違い等)		
		【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分
		協働力の実践	テーマに基づきチームでプレゼンテーションを企画する中で、企業活動を理解すると共に自己理解を図る		
	No2	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	プレゼンテーション作成のための調査	120	分
		協働力の実践	テーマに基づきチームでプレゼンテーションを企画する中で、企業活動を理解すると共に自己理解を図る		
		【予習内容】 Preparation	プレゼンテーション作成のための調査	120	分
		【復習内容】 Review	プレゼンテーション作成のための調査	120	分
	No3	協働力の実践	チームプレゼンテーション発表		
		【予習内容】 Preparation	チームプレゼンテーション発表準備	120	分
		【復習内容】 Review	振り返り	120	分
		自己理解	・ チームプレゼンテーションの振り返り ～集団の中での役割、行動特性を理解する ・ 学生時代頑張ったこと ～書き方の理解及び作成		
	No5	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	ワークシートの作成	120	分
		自己理解	就職の軸		
		【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	No6	【復習内容】 Review	課題作成	120	分
		自己理解			
		【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No7	合同企業説明会	合同企業説明会		
	【予習内容】 Preparation	参加企業研究	120	分
	【復習内容】 Review	振り返り	120	分
	志望先の選定 I	業界、職種理解		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分
	志望先の選定 II	業界情報の捉え方、情報の取捨選択について、求人票の見方を理解する		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分
	選考対策 I	想定業界、企業での志望動機作成		
	【予習内容】 Preparation	企業研究	120	分
	【復習内容】 Review	ワークシート作成	120	分
No11	選考対策 II	多様なエントリーシートへの対応		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分
	選考対策 III	面接対策、マナー実習		
No12	【予習内容】 Preparation	予習教材の視聴	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分

	No13	内定者報告会	内定者報告会		
		【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分
	No14	活動計画策定	・グループディスカッション対策 ・活動計画策定		
		【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分

分野系列 Area of Study	発展科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	2 年
講義名 Name of Subject	プロフェッショナル・セミナーⅥ(エンターテインメントイベント) BE-L
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Professional Seminar Ⅵ
担当教員 Instructor	北原 隆
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	エンターテインメントイベントのディレクターや舞台監督としての30年以上の現場経験を元に、エンタイベントに関わる様々な事柄について具体例を示しながらわかりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	主にステージ（舞台）を使ったイベントの基礎知識+その応用を学びます。 同じ空間を使用するイベントでも、ライブと演劇ではその手法も意味も違ってきます。 使う道具も、場合によっては専門用語も違います。 その歴史や成り立ち、会場の仕組み、演出技術やその意味、仕事の構成を基本から知ること、好みで偏らない的確で安全な企画提案が出来るスキルを身につけます。 またなるべく多くのケーススタディに触れることでその範囲の広がり＆その違いを知り、未知なるものにそれを応用する力を養います。 その上で、様々なイベントへの応用と展開を知ります。																							
【到達目標】 Course Objectives	エンタメイメントに関する基礎知識を理解する 技術や手法・道具を基礎から知り、理解し説明することが出来る 様々なエンタメイメントの特徴を理解する 様々なエンタメイメントのケーススタディにふれ、その特徴を理解し、説明できる エンタメイメントの構成要素を知り理解し自らのエンタメイメントを組み立てる力を身につける イベント内容に合わせた会場選びができ、必要な機材及びスタッフを理解し構成することができる オリジナル企画のイベントをデザインし表現して相手に提案し、実現することができる																							
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇幅広くイベントに興味を持ち、その仕組みを知りたいと考えていること ◇これまでにライブ＆演劇を最低 1 本づつは見ていること																							
【教育方法】 Teaching Method	実務で実際に使用された資料などを使用し、教科書にはないリアルなイベント現場の今を体感してもらう。																							
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	◇教科書は使用せず、授業時に資料を配布する ◇巻尺および三角スケール																							
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td></td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td>○</td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td></td><td>主張力 assertiveness</td><td>○</td><td>創造力 creativity</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr></table>								自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○		
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance																		
協働力 ability to cooperate		主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○																			

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	エンタメイメントに関する基礎知識	40%	日々の課題提出と講義への参加意識、期末試験で総合的に評価します。		
	様々なエンタメイメントの特徴を理解	30%			
	エンタメイメントの構成要素を理解	30%			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	◇特になし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	イントロダクション	様々な舞台、様々なステージ エンターテインメントイベントが行なわれる様々な会場とその条件の違いについて 屋外&屋内 常設&仮設		
		【予習内容】 Preparation	日常的エンタメイメントへの情報収集と参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No2	エンターテインメントの基礎	演劇舞台とライブステージ 仕事の流れとそれに関わる人々 イベントチェックシート		
		【予習内容】 Preparation	日常的エンタメイメントへの情報収集と参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No3	ライブイベントの流れ	計画から当日まで ～仕事での具体的資料を見ながらその流れを学ぶ 会場入りから本番まで ～仕事での具体的資料を見ながらその流れを学ぶ 本番からバラシまで ～仕事での具体的資料を見ながらその流れを学ぶ		
		【予習内容】 Preparation	日常的エンタメイメントへの情報収集と参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No4	着ぐるみの話	着ぐるみの構造と特性とは 着ぐるみ着用時の注意事項 着ぐるみ使用イベントでの注意事項		
		【予習内容】 Preparation	日常的エンタメイメントへの情報収集と参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	導線計画	人の動きを考えた導線計画 楽しませるための導線計画 ゲストエリア、アクトエリア、バックエリアという考え方 テーマパークの仕組み 回遊型アトラクションの仕組み		
	【予習内容】 Preparation	日常的エンタメイベントへの情報収集と参加	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	電気の話 特効について	電気の基礎知識と注意事項 イベント時における電気回路分けのこと 電工ドラムは巻いたまま使うな 特効とは 特殊効果の種類と使用方法について		
	【予習内容】 Preparation	日常的エンタメイベントへの情報収集と参加	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	音響の話	ライブとデッド 音響の基礎知識 反射と吸音 残響時間 立ち位置で違う音の聞こえ方 PAの基礎知識 PA卓の構成 マイクの話 マイクは叩くな スピーカーの話		
	【予習内容】 Preparation	日常的エンタメイベントへの情報収集と参加	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	色と光とLED	色の基本と光の基本について LEDとは何か LEDの特性と効果について		
	【予習内容】 Preparation	日常的エンタメイベントへの情報収集と参加	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	エンタメイベントにおける照明演出について	照明器具の種類とその効果について 舞台照明の意味 照明の当て方による効果の違い 照明制御とDMX		
	【予習内容】 Preparation	日常的エンタメイベントへの情報収集と参加	120	分
	【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分

	No10	エンタイベントにおける映像演出について	LEDスクリーンとプロジェクターについてとその効果 マジックビジョンの仕組みについて プロジェクションマッピングについて		
		【予習内容】 Preparation	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No11	舞台機構	舞台機構とは 舞台の構成について 幕の種類について 反射板について セリなど昇降装置と奈落について 吊りもの系とスノコについて		
		【予習内容】 Preparation	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No12	世界観の構築	大道具小道具について 舞台美術&舞台セット、映画テレビとイベントでの違いについて エイジングとウエザリング 世界観とは何か 世界観の構築とルール作り		
		【予習内容】 Preparation	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No13	イベントと食事	イベント現場での食事の調達とその重要性 現場の違いによる食事の違いについて ロケ弁とケータリング いつ食べるのか誰から食べるのか		
		【予習内容】 Preparation	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分
	No14	会場管理	会場管理について 指定管理者制度について イベント会場で働くことのおもしろさについて		
		【予習内容】 Preparation	日常的エンタイベントへの情報収集と参加	120	分
		【復習内容】 Review	講義内容の振り返り	120	分

分野系列 Area of Study	演習科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	3 年
講義名 Name of Subject	プロフェッショナル・セミナーⅥ(イベント) BE-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Professional Seminar VI
担当教員 Instructor	針谷 和昌
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 （実務経験と授業内容の関係）	コーチング(民間資格所持)やインタビューーとしての実績等を活かし、多角的に将来社会人となった時に役立つ事例を採用し、学生達のモチベーションの創造をサポートします。

【授業概要・本科目で取り扱う テーマ】 Course Description	『好きを見つける教室』 「好きなことが見つからないという人が多いですよ。大人になったって」イチローの言葉です。自分の好きなものが何であるのか、はっきりと自覚している学生は少ないのではないのでしょうか。好きなことを見つけ、好きなことを続けて、出来るという体験が増えることは、自信に繋がります。そしてまた新たな目標に向かって進む気持ちが湧いてきます。この授業では、新しいことにチャレンジし、他人を知り、自分を知り、好きなことを見つけ、将来の自分の姿をイメージすることができるようになることを目指しています。共に好きなことが出来る人生を歩んで行ける様、学生と共にチャレンジして行きたいと考えます。										
【到達目標】 Course Objectives	人を知り、自分を知る。 好きなことを見つける。 将来の自分自身の姿をイメージする。										
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	特にありません。何事にも興味・関心がある方をお待ちしています。										
【教育方法】 Teaching Method	・過去の経験や体験のみでなく、現在進行中の感覚を大切にする。 ・可能な限り学生同士での意見交換及び共同作業を行う場を、学生と共につくります。 ・実際の事例を提示したり、実際に体を動かしてみたり、実際に話し合ったりする、リアルな体験と体感を大切にします。										
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	特にありません。										
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance				
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○					
【成績評価・評価上の留意事項 (試験方法、単位修得要件)】 Evaluation	評価項目と割合						評価方法				
	授業中の積極性						30	授業中での発言内容や積極性を評価し、また課題として提出すべきレポートの内容に関して評価する。更に最終的な筆記試験の内容に対して評価し、以上を左記の割合もとに評価し、すべてを合わせて総合評価とする。			
	レポートの精度						20				
	筆記試験の内容						50				
	合計						1 0 0 %				

【その他の注意事項】 Others	・ 基本リアル授業です（学校が認めた理由がある場合以外、リモート不可です）。 ・ 以下、授業の内容は2024年2月現在の予定であり、その7ヶ月後、9月からの実際の授業では多少の変更もあり得ます。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	「好きなことを見つけるには？」	Lecture －シラバス説明 －自己紹介(針谷和昌) －私の好きなこと －ポジティブフレーミング －良いところを見つける(レピュテーション) Discussion & Report －自己紹介を含めた「私の好きなこと」 －良いところを貼り付ける Others －授業の展開(予定)		
			自分がこれまで好きだったことを考える。なるべく多くの好きなことをピックアップする。	120	分
			授業内容の確認と考察。	120	分
	No2	「私の好きだったこと」	Discussion & Presentation －「私が好きだった遊び」 －「私が好きだった遊び」をスポーツにしたら？ －発表&グループ分け －「新しいスポーツのルール」を考える －「新しいスポーツのユニフォーム」を考える		
			自分が好きだった子供の頃の遊びは何か？それはなぜ好きだったか？を考察する。	120	分
			授業内容の確認と考察。	120	分
	No3	「新しいスポーツをやってみよう」	Trial @体育館 (予定) －皆で考えた「新しいスポーツ」をぜんぶやってみる		
			新しいスポーツを実際にやっている場面をイメージする。イメージしながらルールの検証等を行なってみる。	120	分
			授業内容の確認と考察。	120	分
	No4	「新しいスポーツを絞り込もう」	Discussion & Report －どうしてもっと面白くなるかを討議してまとめる －「新しいスポーツ大会」を企画する		
			新しいスポーツをやってみた結果、何を加えて、何を変えればより面白くなるか、を考察する。	120	分
			授業内容の確認と考察。	120	分
	No5	「新しいスポーツ大会」	Trial @体育館 (予定) －皆で考えた「新しいスポーツ大会」をやってみる		
			新しいスポーツ大会をイメージし、主催者として運営をどのようにするか、場面を想像しながら考える。	120	分
			授業内容の確認と考察。	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No6	「フローとは？」	Lecture ーフロー概論 ー私のフロー体験 Discussion & Presentation ーみんなのフロー体験 Trial ーフローエクササイズ第1回		
	【予習内容】 Preparation	自分がこれまで最も集中した時はいつか？それはどんなことをやっていた時か？を考える。	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の確認と考察。	120	分
	「続フローとは？」	Lecture ーフローエクササイズ第1回の傾向を報告 Trial ーフローエクササイズ第2回		
	【予習内容】 Preparation	フローエクササイズの時に感じた感覚を思い出す。フローエクササイズをやっている時に集中していたかどうかを考える。それが出来ていたのは何故か、あるいは出来ていなかったのは何故かを考える。	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の確認と考察。	120	分
	「インナーゲームとは？」	Lecture ーインナーゲーム概論 Trial @体育館 ーインナーゲーム実践（卓球）		
	【予習内容】 Preparation	これまでさまざまな教室や習いごとでは、どういうふうに教えてもらったか？印象的なことを思い出し、何故印象的だったのかを考える。	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の確認と考察。	120	分
	「発想の転換」	Lecture ートロッコ問題 Trial ー「20年後の同窓会」 ーその時どこで何をやっているか？ ーこのクラスの人たちとの繋がりとは？		
	【予習内容】 Preparation	自分の将来、20年後、そして40年後を考える。その時、どこで、どんなことを、誰とやっているか？	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の確認と考察。	120	分
No10	「インタビュー」	Special Interview ーその①(例：ビジネスマン=スポンサーorメディア) Trial ーQ&A		
	【予習内容】 Preparation	メディアに出ているインタビュー記事を読む。どんな媒体か、どんなテーマかは問わない。自分が興味のある分野や人のインタビュー記事を読む。	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の確認と考察。	120	分
	「続インタビュー」	Special Interview ーその②(例：スポーツマン=選手orコーチ) Trial ーQ&A		
No11	【予習内容】 Preparation	自分がインタビュアーになったら、相手にどんなことを聞か？どんなことに気をつけるか？考えてみる。	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の確認と考察。	120	分

	No12	「続タインタビュー」	Trial & Presentation ーインタビューをやってみる ーインタビューをまとめる～発表	
		【予習内容】 Preparation	インタビューをやる上で難しそうなことは何か？どうすれば良いインタビューが出来るのか？を考える。	120分
		【復習内容】 Review	授業内容の確認と考察。	120分
	No13	「新しいスポーツ大会をつくる総集編」	Discussion & Presentation ー大会概要・ルール・魅力 ー投票～実施競技&大会決定	
		【予習内容】 Preparation	以前やった「新しいスポーツ」を思い出し、ルールや魅力について考える。またルールや魅力を活かす大会のやり方があるか考える。	120分
		【復習内容】 Review	授業内容の確認と考察。	120分
	No14	「新しいスポーツ大会 実践」	Trial @体育館 (予定) ー新しいスポーツ①大会実施 ー新しいスポーツ②大会実施	
		【予習内容】 Preparation	大会の段取りを想像し、そのために準備をしておかなければいけないことは何かを考え、準備する。	120分
		【復習内容】 Review	授業内容の確認と考察。	120分

分野系列 Area of Study	選択科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2024)、経営学部 イベント(留学2024)、経営学部 イベント(2024)、経営学部 経営学科(2024)、経営学部 経営学科(留学2023)、経営学部 イベント(留学2023)、経営学部 イベント(2023)、経営学部 経営学科(2023)
配当学年（履修対象） Year of Study	1 年
講義名 Name of Subject	文化教養特講Ⅱ(イベント) BE-M
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Cultural Education Special Lecture II
担当教員 Instructor	針谷 和昌
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 （実務経験と授業内容の関係）	コーチング(民間資格所持)やインタビューとしての実績等を活かし、多角的に将来社会人となった時に役立つ事例を採用し、学生達のモチベーションの創造をサポートします。

【授業概要・本科目で取り扱う テーマ】 Course Description	『好きを見つける教室』 「好きなことが見つからないっていう人が多いですよ。大人になったって」イチローの言葉です。自分の好きなものが何であるのか、はっきりと自覚している学生は少ないのではないのでしょうか。好きなことを見つけ、好きなことを続けて、出来るという体験が増えることは、自信に繋がります。そしてまた新たな目標に向かって進む気持ちが湧いてきます。この授業では、新しいことにチャレンジし、他人を知り、自分を知り、好きなことを見つけ、将来の自分の姿をイメージすることができるようになることを目指しています。共に好きなことが出来る人生を歩んで行ける様、学生と共にチャレンジして行きたいと考えます。										
【到達目標】 Course Objectives	人を知り、自分を知る。 好きなことを見つける。 将来の自分自身の姿をイメージする。										
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	特にありません。何事にも興味・関心がある方をお待ちしています。										
【教育方法】 Teaching Method	・過去の経験や体験のみでなく、現在進行中の感覚を大切にする。 ・可能な限り学生同士での意見交換及び共同作業を行う場を、学生と共につくります。 ・実際の事例を提示したり、実際に体を動かしてみたり、実際に話し合ったりする、リアルな体験と体感を大切にします。										
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	特にありません。										
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break	○	忍耐力 endurance				
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity	○					
【成績評価・評価上の留意事項 (試験方法、単位修得要件)】 Evaluation	評価項目と割合						評価方法				
	授業中の積極性						30	授業中での発言内容や積極性を評価し、また課題として提出すべきレポートの内容に関して評価する。更に最終的な筆記試験の内容に対して評価し、以上を左記の割合もとに評価し、すべてを合わせて総合評価とする。			
	レポートの精度						20				
	筆記試験の内容						50				
	合計						100%				

【その他の注意事項】 Others	・ 基本リアル授業です（学校が認めた理由がある場合以外、リモート不可です）。 ・ 以下、授業の内容は2024年2月現在の予定であり、その7ヶ月後、9月からの実際の授業では多少の変更もあり得ます。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	「好きなことを見つけるには？」	Lecture －シラバス説明 －自己紹介(針谷和昌) －私の好きなこと －ポジティブフレーミング －良いところを見つける(レピュテーション) Discussion & Report －自己紹介を含めた「私の好きなこと」 －良いところを貼り付ける Others －授業の展開(予定)		
			自分がこれまで好きだったことを考える。なるべく多くの好きなことをピックアップする。	120	分
			授業内容の確認と考察。	120	分
	No2	「私の好きだったこと」	Discussion & Presentation －「私が好きだった遊び」 －「私が好きだった遊び」をスポーツにしたら？ －発表&グループ分け －「新しいスポーツのルール」を考える －「新しいスポーツのユニフォーム」を考える		
			自分が好きだった子供の頃の遊びは何か？それはなぜ好きだったか？を考察する。	120	分
			授業内容の確認と考察。	120	分
	No3	「新しいスポーツをやってみよう」	Trial @体育館 (予定) －皆で考えた「新しいスポーツ」をぜんぶやってみる		
			新しいスポーツを実際にやっている場面をイメージする。イメージしながらルールの検証等を行なってみる。	120	分
			授業内容の確認と考察。	120	分
	No4	「新しいスポーツを絞り込もう」	Discussion & Report －どうしてももっと面白くなるかを討議してまとめる －「新しいスポーツ大会」を企画する		
			新しいスポーツをやってみた結果、何を加えて、何を変えればより面白くなるか、を考察する。	120	分
			授業内容の確認と考察。	120	分
	No5	「新しいスポーツ大会」	Trial @体育館 (予定) －皆で考えた「新しいスポーツ大会」をやってみる		
			新しいスポーツ大会をイメージし、主催者として運営をどのようにするか、場面を想像しながら考える。	120	分
			授業内容の確認と考察。	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No6	「フローとは？」	Lecture ーフロー概論 ー私のフロー体験 Discussion & Presentation ーみんなのフロー体験 Trial ーフローエクササイズ第1回		
	【予習内容】 Preparation	自分がこれまで最も集中した時はいつか？それはどんなことをやっていた時か？を考える。	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の確認と考察。	120	分
No7	「続フローとは？」	Lecture ーフローエクササイズ第1回の傾向を報告 Trial ーフローエクササイズ第2回		
	【予習内容】 Preparation	フローエクササイズの時に感じた感覚を思い出す。フローエクササイズをやっている時に集中していたかどうかを考える。それが出来ていたのは何	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の確認と考察。	120	分
No8	「インナーゲームとは？」	Lecture ーインナーゲーム概論 Trial @体育館 ーインナーゲーム実践（卓球）		
	【予習内容】 Preparation	これまでさまざまな教室や習いごとでは、どういふに教えてもらったか？印象的なことを思い出し、何故印象的だったのかを考える。	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の確認と考察。	120	分
No9	「発想の転換」	Lecture ートロッコ問題 Trial ー「20年後の同窓会」 ーその時どこで何をやっているか？ ーこのクラスの人たちとの繋がりは？		
	【予習内容】 Preparation	自分の将来、20年後、そして40年後を考える。その時、どこで、どんなことを、誰とやっているか？	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の確認と考察。	120	分
No10	「インタビュー」	Special Interview ーその①(例：ビジネスマン=スポンサーorメディア) Trial ーQ&A		
	【予習内容】 Preparation	メディアに出ているインタビュー記事を読む。どんな媒体か、どんなテーマかは問わない。自分が興味のある分野や人のインタビュー記事を読む。	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の確認と考察。	120	分
No11	「続インタビュー」	Special Interview ーその②(例：スポーツマン=選手orコーチ) Trial ーQ&A		
	【予習内容】 Preparation	自分がインタビュアーになったら、相手にどんなことを聞か？どんなことに気をつけるか？考えてみる。	120	分
	【復習内容】 Review	授業内容の確認と考察。	120	分

	No12	「続タインタビュー」	Trial & Presentation ーインタビューをやってみる ーインタビューをまとめる～発表	
		【予習内容】 Preparation	インタビューをやる上で難しそうなことは何か？どうすれば良いインタビューが出来るのか？を考える。	120分
		【復習内容】 Review	授業内容の確認と考察。	120分
	No13	「新しいスポーツ大会をつくる総集編」	Discussion & Presentation ー大会概要・ルール・魅力 ー投票～実施競技&大会決定	
		【予習内容】 Preparation	以前やった「新しいスポーツ」を思い出し、ルールや魅力について考える。またルールや魅力を活かす大会のやり方があるか考える。	120分
		【復習内容】 Review	授業内容の確認と考察。	120分
	No14	「新しいスポーツ大会 実践」	Trial @体育館 (予定) ー新しいスポーツ①大会実施 ー新しいスポーツ②大会実施	
		【予習内容】 Preparation	大会の段取りを想像し、そのために準備をしておかなければいけないことは何かを考え、準備する。	120分
		【復習内容】 Review	授業内容の確認と考察。	120分

分野系列 Area of Study	演習科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	3 年
講義名 Name of Subject	プロフェッショナル・セミナーⅤ(戦略営業論) BE-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Professional Seminar V
担当教員 Instructor	緒方 義人
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 （実務経験と授業内容の関係）	担当教員は人材業界最大手 株式会社リクルートに約19年間勤務し、営業・広告制作業務を通じ顧客の抱える課題解決に従事して参りました。 その実務経験を活かし、企業活動の本質である「営業」の理論をわかりやすく講義します。

【授業概要・本科目で取り扱う テーマ】 Course Description	テーマ：戦略営業論 大卒（文系）の7割以上が営業職・販売職に就くと言われています。 本講座では、企業活動にとって最も重要で本質的な営業の仕事とはどういったものなのかを理解し、その上で「企業の現状」を把握する上で有効なフレームワークやクライアントが抱える問題解決のプロセス・方法を学びます。 また、営業に求められるコミュニケーションスキルのひとつに交渉力が挙げられます。ビジネスの現場で行われる交渉は、双方がwin-winの状態ではなくては成立せず「その場限りの勝ち負けではない、問題解決の共同作業」です。本講座では交渉学の理論を理解し、演習（模擬交渉）を通じその基礎的なスキルの装着を目指します。																																					
【到達目標】 Course Objectives	企業研究のための3つのフレームを理解し、実践する 問題解決のプロセス・方法を理解し、実践する 交渉学の理論を理解し、実践する																																					
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	営業の仕事に興味・関心がある学生。 他者と積極的に関わりながら成長したい学生。																																					
【教育方法】 Teaching Method	アクティブラーニング 受講生が座学で受動的に学習する従来のスタイルを脱却し、受講生同士がディスカッションしたり、講師と受講生との間での対話を通じ学びを深めます。																																					
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	教科書：使用せず。 講義資料は、授業で毎回配布します。																																					
【実務！Q修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td></td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td></td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td>○</td><td>主張力 assertiveness</td><td>○</td><td>創造力 creativity</td><td></td><td colspan="2"></td></tr></table>										自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity															
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance																																
協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity																																		
【成績評価・評価上の留意事項 （試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	<table><tr><th colspan="4">評価項目と割合</th><th colspan="2">評価方法</th></tr><tr><td colspan="4">営業に関する概念、企業研究のフレームを理解しているか</td><td>40%</td><td colspan="2" rowspan="4">テスト、取り組み姿勢、 提出物（ワークシート、振返シート）を元に総合的に評価する</td></tr><tr><td colspan="4">問題解決のプロセス・方法を理解し、演習で実践しているか</td><td>30%</td></tr><tr><td colspan="4">交渉学の理論を理解し、演習で実践しているか</td><td>30%</td></tr><tr><td colspan="4">合計</td><td>100%</td></tr></table>										評価項目と割合				評価方法		営業に関する概念、企業研究のフレームを理解しているか				40%	テスト、取り組み姿勢、 提出物（ワークシート、振返シート）を元に総合的に評価する		問題解決のプロセス・方法を理解し、演習で実践しているか				30%	交渉学の理論を理解し、演習で実践しているか				30%	合計				100%
評価項目と割合				評価方法																																		
営業に関する概念、企業研究のフレームを理解しているか				40%	テスト、取り組み姿勢、 提出物（ワークシート、振返シート）を元に総合的に評価する																																	
問題解決のプロセス・方法を理解し、演習で実践しているか				30%																																		
交渉学の理論を理解し、演習で実践しているか				30%																																		
合計				100%																																		

【その他の注意事項】 Others	特になし。				
----------------------	-------	--	--	--	--

	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	オリエンテーション	概要（授業内容、評価方法）説明、アンケート		
		【予習内容】 Preparation	シラバスを読み、受講に当たっての抱負・目標をまとめる	120	分
		【復習内容】 Review	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分
		営業の仕事を知る その 1	映像を元に、営業の仕事を理解する		
	No2	【予習内容】 Preparation	映像を視聴する	120	分
		【復習内容】 Review	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分
		営業の仕事を知る その 2	記事を元に、営業の仕事を理解する		
		【予習内容】 Preparation	インタビュー記事を読む	120	分
	No3	【復習内容】 Review	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分
		営業の仕事を知る その 3	インタビュー準備（質問項目を考える、ロープレを通じ本番に備える）		
		【予習内容】 Preparation	社会人（営業職）への質問を考え、まとめる	120	分
		【復習内容】 Review	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分
	No4	営業の仕事を知る その 4	営業の仕事のリアルをインタビューを通じて学ぶ ※営業職に就く社会人数名にご登壇いただく予定です。		
		【予習内容】 Preparation	インタビューする際の心得、質問項目を確認する	120	分
		【復習内容】 Review	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分
		営業視点で企業を研究する その 1	企業の現状を把握する上で有効な 3 つのフレームワークを学び、演習を通じて理解する(3C 分析・PEST分析)		
	No6	【予習内容】 Preparation	ワークシートを使い企業分析(3C分析・PEST分析)に挑戦する	120	分
		【復習内容】 Review	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No7	営業視点で企業を研究する その2	企業の現状を把握する上で有効な3つのフレームワークを学び、演習を通じて理解する (SWOT分析)		
	【予習内容】 Preparation	ワークシートを使い企業分析（SWOT）に挑戦する	120	分
	【復習内容】 Review	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分
	問題解決について学ぶ その1	問題解決のためのプロセスと方法を学び、演習を通じ理解する		
	【予習内容】 Preparation	演習のテーマについて、情報収集する	120	分
	【復習内容】 Review	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分
	問題解決について学ぶ その2	演習（テーマ：身近で起きている問題を予定）を通じ問題解決について理解を深める		
	【予習内容】 Preparation	演習のテーマについて、情報収集する	120	分
	【復習内容】 Review	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分
	問題解決について学ぶ その3	演習（テーマ：社会問題となっていることを予定）を通じ、問題解決についての理解をさらに深める		
	【予習内容】 Preparation	演習のテーマについて、情報収集する	120	分
	【復習内容】 Review	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分
No11	営業に必要なコミュニケーションスキルを学ぶ その1	交渉学における理論を学ぶ		
	【予習内容】 Preparation	日常生活の中の身近な「交渉」についてまとめる	120	分
	【復習内容】 Review	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分
No12	営業に必要なコミュニケーションスキルを学ぶ その2	交渉について演習（学生に身近なテーマ）を通じ理解を深める		
	【予習内容】 Preparation	演習の事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分

	No13	営業に必要なコミュニケーションスキルを学ぶ その 3	交渉について演習（ビジネスの世界でよく見られるテーマ）を通じ、さらに理解を深める		
		【予習内容】 Preparation	演習の事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分
	No14	振り返り	今までの授業についての総括/振り返りとアンケート		
		【予習内容】 Preparation	授業で配布した資料をもとに、学びを総点検する。	120	分
		【復習内容】 Review	振り返りシートで、授業での学びを元に気づいたこと、考えたことをまとめる	120	分

分野系列 Area of Study	演習科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	3 年
講義名 Name of Subject	プロフェッショナル・セミナーⅤ(社会貢献イベント論) BE-B
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Professional Seminar V
担当教員 Instructor	濱松 敏廣
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 （実務経験と授業内容の関係）	非営利法人の経営において、スポンサーからの寄付で運営をして来ました。社会課題に意識を向けた次世代を育て、「自身のPR＝企画書」の書き方を通じて支援され得る次世代のアイデアを育成します。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	ボランティアの経験を就職面接で学生に問う企業が増えています。なぜでしょうか？ 大きな責任を伴う企業では、責任感がなく根性がない人の採用は、よほどのコネでもない限りしませんが、そこで彼らは対価性が低いボランティア活動のなかで、与えられた仕事を継続し責任の伴う役割を果たすことができたのか、書類や面接で引き出そうとするのです。当論では社会貢献団体におけるイベント運営や歴史、企画書の書き方、スポンサー獲得への営業体験などを提供し、社会の即戦力として期待される学生を育成します。
【到達目標】 Course Objectives	社会課題の種類を知り、なぜその問題に興味を持つのか、自分の気持ちを確認すること。 企画書の作成を通じて、他者からの評価および他者への評価づけを体験すること。 既存イベントを通じて自分のやりたいイベントとは何かを見定め、形にすること。
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	◇ 履修条件：とくになし。 ◇ 就活などに追われ、自分の価値について再考したい方には特にお勧めします。
【教育方法】 Teaching Method	系統学習に加えて、一部課題解決型学習を取り入れます。
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	指定図書は使用しません。各テーマごと、必要に応じて用意します。
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control 思考力 ability to think ○ 突破力 The power to break ○ 忍耐力 endurance 協働力 ability to cooperate ○ 主張力 assertiveness ○ 創造力 creativity ○

【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	既存イベントを通じて自分のやりたいイベントとは何かを見定め、形にすること。		30%	評価項目と割合に準拠しつつ、授業態度および体験イベントへの参加を加味した上で、試験にて評価を行う。	
	6W2HおよびSWOT分析についての理解を深めることができたか。		40%		
	課題提出の提出。		30%		
	合計		100%		
【その他の注意事項】 Others					
	◇他校の学生や社会人と連絡をとることがあるため、対外的に使えるメールアドレスをご用意ください。 ◇予習や復習はあくまでも学問としての理解を深めるための目安であり、当授業にとって必ずしも必要ではありません。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	オリエンテーション&イントロダクション	非営利イベントの意義とブランディングについて。物事の「価値」を考えよう。		
	【予習内容】 Preparation	自分が興味を持つ、または問題意識を感じている社会課題について、調べておこう。	120	分	
	【復習内容】 Review	自分を取り巻く社会課題について考えることで、大学での学びをより充実させてみよう。	120	分	
	No2	非営利イベントを行う目的と企画立案の仕方	企画の立案・分析・予算・広報(内部/外部)・スタッフ・スケジュールについて学びます。非営利団体と営利企業の運営における違いとは？		
	【予習内容】 Preparation	営利企業におけるイベントについて、知っている人は思考を整理しておこう。	120	分	
	【復習内容】 Review	非営利団体と営利企業の運営の違いをについて、思考整理しておこう。	120	分	
	No3	スポンサー獲得方法と協賛の種類	NPO法人維新隊ユネスコクラブでの事例紹介。自立のできる非営利組織と自立のできない組織における「違い」とはなにか、考えよう。		
	【予習内容】 Preparation	社会貢献団体における自立の方法について、考えてみよう。	120	分	
	【復習内容】 Review	身近な活動を知り、補助金に頼る団体と頼らない団体の違いは何か、考えをまとめよう。	120	分	
	No4	要素分析とデザイン	スポンサー獲得のできる企画書と、できない企画書の違いとは何でしょうか。デザインの重要性和、6W2Hについて学びます。		
【予習内容】 Preparation	「スポンサーの獲得できる企画書」について考察し、学習深度を深めます。	120	分		
【復習内容】 Review	予習で得た考察とサンプル事例を比較することで、企画書の重要性を学びます。	120	分		

【授業計画】
Course Schedule

No5	思考の整理術	6W2Hの復習とPDCAの重要性について、理解度を深めます。		
	【予習内容】 Preparation	PDCAの使い方および実例について、調べてみよう。	120	分
	【復習内容】 Review	思考の整理術にはどのような方法があるか、復習しよう。	120	分
	No6	企画書を書く前に～SWOT分析①～	マーケティング手法「SWOT」の具体的な分析方法を学ぼう。Ex) 自分SWOT	
		【予習内容】 Preparation	マーケティング分析について、自主的に調べてみよう。	120 分
		【復習内容】 Review	SWOT分析における外的要因と内的要因とは何か？理解しよう。	120 分
		企画書を書く前に～SWOT分析②～	自分SWOTを使って自分を商品に見立てた上で、相互プレゼンテーションを体験してみよう。	
	No7	【予習内容】 Preparation	SWOT分析とはなにか？さまざまな文献を調べ、理解を深めよう。	120 分
		【復習内容】 Review	評価「する者」と「される者」の立場を経験し、その時感じた気持ちをまとめよう。	120 分
		企業CSRの実例紹介	企業CSR担当者をお招きし、企業におけるCSRの意義やイベント等の実情を聞き、営利企業にとっての社会貢献とはなにか、理解を深める。	
	No8	【予習内容】 Preparation	ゲスト企業について、調べておこう。	120 分
		【復習内容】 Review	ゲスト企業にスポンサーをお願いできる社会貢献テーマは何か、読み解こう。	120 分
		テーマ別チーム結成・簡易企画書の作成	テーマ別にチーム分けを行い、スポンサー企業を意識した企画書作りを実施。	
	No9	【予習内容】 Preparation	チームビルディングの方法について、調べてみよう。	120 分
		【復習内容】 Review	企画書の作り方に必要なポイントは何か？再確認しよう。	120 分
		企画書の相互チェック・俯瞰	プレゼンテーションへの準備。足りないポイントは何か？チームメンバーと共に考える。	
No10	【予習内容】 Preparation	優れたプレゼンに必要な要素とはなにか、調べておこう。	120	分
	【復習内容】 Review	企画書の内容について、人の心を打つことができる内容か、再確認しておこう。	120	分

	No11	チーム対抗プレゼンテーション	チーム対抗プレゼンテーションの実施。優秀チームの選定および評価を相互に行おう。		
		【予習内容】 Preparation	発表者を決め、発表の予行練習をしておこう。	120	分
		【復習内容】 Review	優勝チームと自分たちのチーム発表について、違いを考えてみよう。	120	分
	No12	企画書のブラッシュアップ	優秀チームの企画書を、より良くするための意見交換をしよう。		
		【予習内容】 Preparation	優勝チームの企画書について、良い点と悪い点を認識しておこう。	120	分
		【復習内容】 Review	意見交換をもとに、デザインに独自性を持たせてみよう。	120	分
	No13	企業CSRの実例紹介資料の見直し	春期授業で使われた資料の再確認を行い、自身が企画書を書けるようになってから資料を見とどのような変化を感じたか意見交換を行おう。		
		【予習内容】 Preparation	提供された資料を見ながら、6W2Hに当てはまるキーワードを抜き出そう。	120	分
		【復習内容】 Review	他者の意見と自身の感じ方の違いについて、思い返してみよう。	120	分
	No14	総括・達成度の確認	今までの授業についての総括および学習達成度の確認しよう。テスト範囲について、要点整理を行います。		
		【予習内容】 Preparation	No1～13までの資料を再度読み直してください。	120	分
		【復習内容】 Review	要点整理をしますので、重要ポイントを復習してください。	120	分

分野系列 Area of Study	演習科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)
配当学年（履修対象） Year of Study	3 年
講義名 Name of Subject	プロフェッショナル・セミナーⅦ(就職) BE-C
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Professional Seminar VII
担当教員 Instructor	宮地 由夏
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 （実務経験と授業内容の関係）	企業の研修企画・実施及びキャリアコンサルタントとしての実務経験をもとに、将来を見据えたキャリア構築の重要性の認識と就職への意識付けの教育を、グループワークを多用し実践的に行う。

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	長期化する厳選採用と働き方の多様化に伴い、就職に当たっては早い段階での主体的行動が求められるようになってきました。本講義では、自立を目的として「話す・聴く・書く」というコミュニケーション力と対人関係構築力を、グループワークやディスカッションを通じ体感的に学びます。自信を持って就職活動に臨めるよう、進路決定にあたってしておくべき自己分析や業界理解、企業理解を進めていきます。									
【到達目標】 Course Objectives	日本企業における雇用慣行、就職活動の仕組み、基本的なワークルールについて理解する 「働くこと」への理解を深め、社会人としてのふるまい、言動、マナーを身につける 自己理解・自己分析を深めるとともに、数多くある選択肢の中から、自らの職業適性を知る									
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	3年生で主に民間企業等への就職を考えている学生									
【教育方法】 Teaching Method	講義及び個人、グループワーク									
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	講義資料およびワークシートは随時配布する									
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance			
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity					
【成績評価・評価上の留意事項（試験方法、単位修得要件）】 Evaluation	評価項目と割合							評価方法		
	受講態度					70%		職業意識の形成と卒業後の社会人基礎力の向上を目的とすることから、出席評価（取り組み姿勢・参加態度含む）70%、レポートおよび提出物評価30%。		
	課題提出物による授業理解度					30%				
	合計					100%				
【その他の注意事項】 Others	本講義は連続性があるため、一度の欠席が大きなハンデとなることもあります。 また社会人となるための準備講座のため、講義のルール及びマナーを守って受講するをお願いします。 講義内容は変更の可能性があります。その際は随時講義内でお知らせします。									

	【週】	【テーマ】	【学習内容】		
	Week	Theme	Study Contents		
No1		オリエンテーション	・就職活動の現状理解、全体スケジュールと準備事項 ・大学3年生の過ごし方 ～納得いくキャリア形成のために今すべきこと		
		【学習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分
No2		社会人基礎力の理解	社会人基礎力の紹介 ～社会で求められるコンピテンシーを理解する		
		【学習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分
No3		社会人基礎力の理解	適性テスト受験		
		【学習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分
No4		自己理解～入門編	・経験の棚卸し ・社会人基礎力から強みを考える		
		【学習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分
No5		自己理解～入門編	自己PRの書き方理解		
		【学習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分
No6		適性テスト受験結果解説会	適性テスト受験結果解説会		
		【学習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No7	自己理解～入門編	自己PRの作成		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	ワークシート作成	120	分
	仕事理解～入門編	・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分
	仕事理解～入門編	・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分
	仕事理解～入門編	・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分
No10	仕事理解～入門編	・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分
	仕事理解～入門編	・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分
	仕事理解～入門編	・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分
	仕事理解～入門編	・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分
No11	インターンシップ参加準備	インターンシップ参加企業の研究		
	【予習内容】 Preparation	参加企業事前調査	120	分
	【復習内容】 Review	ワークシート作成	120	分
	インターンシップ参加準備	インターンシップ参加企業の志望動機作成		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	ワークシート作成	120	分
	インターンシップ参加準備	インターンシップ参加企業の志望動機作成		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	ワークシート作成	120	分
	インターンシップ参加準備	インターンシップ参加企業の志望動機作成		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	ワークシート作成	120	分
No13	キャリア情報交流会	OBOGの話から仕事のやりがいや職業を知る		
	【予習内容】 Preparation	キャリア情報交流会事前準備	120	分
	【復習内容】 Review	振り返り	120	分

	No14	インターンシップ参加準備	セルフプレゼンテーション		
		【予習内容】 Preparation	課題事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分

分野系列 Area of Study	演習科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)
配当学年（履修対象） Year of Study	3 年
講義名 Name of Subject	プロフェッショナル・セミナーⅦ(就職) BE-A
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Professional Seminar VII
担当教員 Instructor	野沢 牧子
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	春(前)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	企業の人事部およびキャリアコンサルタントとしての実務経験をもとに、将来を見据えたキャリア構築の重要性の認識と就職への意識付けの教育をグループワークを多用し実践的に行っている

【授業概要・本科目で取り扱うテーマ】 Course Description	長期化する厳選採用と働き方の多様化に伴い、就職に当たっては早い段階での主体的行動が求められるようになってきました。本講義では、自立を目的として「話す・聴く・書く」というコミュニケーション力と対人関係構築力を、グループワークやディスカッションを通じ体感的に学びます。自信を持って就職活動に臨めるよう、進路決定にあたってしておくべき自己分析や業界理解、企業理解を進めていきます。																						
【到達目標】 Course Objectives	日本企業における雇用慣行、就職活動の仕組み、基本的なワークルールについて理解する 「働くこと」への理解を深め、社会人としてのふるまい、言動、マナーを身につける 自己理解・自己分析を深めるとともに、数多くある選択肢の中から、自らの職業適性を知る																						
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	3年生で主に民間企業等への就職を考えている学生																						
【教育方法】 Teaching Method	講義及び個人、グループワーク																						
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks ・ Reference Books	講義資料およびワークシートは随時配布する																						
【実務 I Q 修得目標】 Learning objective based on practical applicability	<table><tr><td>自制力 self-control</td><td></td><td>思考力 ability to think</td><td>○</td><td>突破力 The power to break</td><td></td><td>忍耐力 endurance</td><td></td></tr><tr><td>協働力 ability to cooperate</td><td>○</td><td>主張力 assertiveness</td><td>○</td><td>創造力 creativity</td><td></td><td colspan="2"></td></tr></table>							自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance		協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity			
自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance																	
協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity																			

【成績評価・評価上の留意事項 (試験方法、単位修得要件)】 Evaluation	評価項目と割合		評価方法		
	受講態度	70	職業意識の形成と卒業後の社会人基礎力の向上を 目的とすることから、出席評価（取り組み姿勢・ 参加態度含む）70%、レポートおよび提出物評価 30%。		
	課題提出物による授業理解度	30			
	合計	100%			
【その他の注意事項】 Others	本講義は連続性があるため、一度の欠席が大きなハンデとなることもあります。 また社会人となるための準備講座のため、講義のルール及びマナーを守って受講するようお願いします。 講義内容は変更の可能性があります。その際は随時講義内でお知らせします。				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	オリエンテーション	・就職活動の現状理解、全体スケジュールと準備事項 ・大学3年生の過ごし方 ～納得いくキャリア形成のために今すべきこと		
		【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分
	No2	社会人基礎力の理解	社会人基礎力の紹介 ～社会で求められるコンピテンシーを理解する		
		【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分
	No3	社会人基礎力の理解	適性テスト受験		
		【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分
	No4	自己理解～入門編	・経験の棚卸し ・社会人基礎力から強みを考える		
		【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No5	自己理解～入門編	自己PRの書き方理解		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分
No6	適性テスト受験結果解説会	適性テスト受験結果解説会		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分
No7	自己理解～入門編	自己PRの作成		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	ワークシート作成	120	分
No8	仕事理解～入門編	・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分
No9	仕事理解～入門編	・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分
No10	仕事理解～入門編	・産業構造理解 ・業界、職種理解 ・企業理解		
	【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
	【復習内容】 Review	課題作成	120	分

	No11	インターンシップ参加準備	インターンシップ参加企業の研究		
		【予習内容】 Preparation	参加企業事前調査	120	分
		【復習内容】 Review	ワークシート作成	120	分
	No12	インターンシップ参加準備	インターンシップ参加企業の志望動機作成		
		【予習内容】 Preparation	課題作成	120	分
		【復習内容】 Review	ワークシート作成	120	分
	No13	キャリア情報交流会	OBOGの話から仕事のやりがいや職業を知る		
		【予習内容】 Preparation	キャリア情報交流会事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	振り返り	120	分
	No14	インターンシップ参加準備	セルフプレゼンテーション		
		【予習内容】 Preparation	課題事前準備	120	分
		【復習内容】 Review	課題作成	120	分

分野系列 Area of Study	演習科目
カリキュラム Curriculum	経営学部 経営学科(留学2022)、経営学部 イベント(留学2022)、経営学部 イベント(2022)、経営学部 経営学科(2022)、経営学部 経営学科(留学2021)、経営学部 イベント(留学2021)、経営学部 イベント(2021)、経営学部 経営学科(2021)、経営学部 経営学科(留学2020)、経営学部 イベント(留学2020)、経営学部 イベント(2020)、経営学部 経営学科(2020)、経営学部 経営学科(留学2019)、経営学部 イベント(留学2019)、経営学部 イベント(2019)、経営学部 経営学科(2019)、経営学部 経営学科(留学2018)、経営学部 イベント(留学2018)、経営学部 イベント(2018)、経営学部 経営学科(2018)
配当学年（履修対象） Year of Study	3 年
講義名 Name of Subject	プロフェッショナル・セミナーⅧ(キャリアインタビュー) BE-K
講義名（英語表記） Name of Subject (English)	Professional Seminar Ⅷ
担当教員 Instructor	宇田川 素子
必修／選択 Compulsory／Elective	選択必修
開講期 Course Period	秋(後)期
単位数 Credits	2
実務経験のある教員 (実務経験と授業内容の関係)	担当教員は、メーカーの法人営業、マーケティング、教育の実務経験を有します。ビジネス分野で役立つ手法を活用し、今後のキャリアを考える支援をします。

【授業概要・本科目で取り扱う テーマ】 Course Description	テーマ：キャリアインタビュー この授業では、社会人がどのような意識で仕事に取り組んでいるかを映像、記事、インタビューを通して理解し、その姿を参考にしながら自己理解を深め、今後のキャリアについて考えます。また、社会人へのキャリアインタビューを実践することで、マナーの理解、コミュニケーションに必要な傾聴力の向上を目指します。授業では毎回グループワークを行いますので、自分の意見をわかりやすく伝えながらメンバーを巻き込み、協働するプロセスも学べます。										
【到達目標】 Course Objectives	他者と協力しながら、主体的に取り組む 自己理解を深め、将来の見通しを持つ 傾聴を心掛け、キャリアインタビューを実践する										
【履修条件・受講推奨者】 Course Conditions	以下のいずれかに該当する学生に受講を推奨します。 ・自己理解を深め、今後のキャリアの参考にしたい。 ・コミュニケーション力を高めたい。 ・就職活動の準備をしたい。										
【教育方法】 Teaching Method	グループワークを取り入れ、コミュニケーションを重視する対面授業										
【指定教科書・参考資料等】 Textbooks Reference Books	使用せず										
【実務！Q修得目標】 Learning objective based on practical applicability	自制力 self-control		思考力 ability to think	○	突破力 The power to break		忍耐力 endurance				
	協働力 ability to cooperate	○	主張力 assertiveness	○	創造力 creativity						
【成績評価・評価上の留意事項 (試験方法、単位修得要件)】 Evaluation	評価項目と割合							評価方法			
	グループのメンバーと協力しながら、主体的に課題に取り組んでいるか							30	試験40%、課題30%、授業への取り組み30%		
	自分に向き合い、自分を理解し、将来の見通しを持っているか							30			
	傾聴を心掛け、キャリアインタビューを深掘りして実践しているか							40			
	合計							100%			

【その他の注意事項】 Others	特になし				

	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
	No1	オリエンテーション	概要（授業目標、内容、評価方法）説明		
		【予習内容】 Preparation	シラバスを確認する	120	分
		【復習内容】 Review	授業目標、内容、評価方法を再度見直し確認する	120	分
	No2	キャリアの理解①	映像・記事を通して社会人のキャリアを考え、理解する		
		【予習内容】 Preparation	授業で学習する社会人について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	本日のグループワークの自己評価を行う	120	分
	No3	キャリアの理解②	映像・記事を通して社会人のキャリアを考え、理解する		
		【予習内容】 Preparation	授業で学習する社会人について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	本日のグループワークの自己評価を行う	120	分
	No4	キャリアの理解③	映像・記事を通して社会人のキャリアを考え、理解する		
		【予習内容】 Preparation	興味がある職業について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	本日のグループワークの自己評価を行う	120	分
	No5	インタビュー体験①	インタビューの体験を通して傾聴手法を理解する		
		【予習内容】 Preparation	インタビューに必要なことを考える	120	分
		【復習内容】 Review	本日のインタビューの自己評価を行う	120	分
	No6	インタビュー体験②	インタビューの体験を通して傾聴手法を理解する		
		【予習内容】 Preparation	前回インタビューの改善点を考える	120	分
		【復習内容】 Review	本日のインタビューの自己評価を行う	120	分

【授業計画】
Course Schedule

No7	キャリアインタビュー準備①	質問の検討、インタビューの練習をする		
	【予習内容】 Preparation	インタビュー対象者を検討する	120	分
	【復習内容】 Review	インタビューの準備、実践、レポート作成を行う	120	分
	自己理解①	ワークを通して自分の価値観を知る		
	【予習内容】 Preparation	自分のこれまでの人生を振り返り、印象に残った出来事を思い出す	120	分
	【復習内容】 Review	本日のペアワークの自己評価を行う	120	分
	キャリアインタビュー振り返り①	各自が実践してきたキャリアインタビューを共有し、振り返る		
	【予習内容】 Preparation	キャリアインタビュー振り返りの準備を行う	120	分
	【復習内容】 Review	インタビュー対象者に報告する	120	分
	キャリアインタビュー準備②	インタビュー対象者の勤務先、仕事内容など必要な情報を確認、インタビューの練習をする		
	【予習内容】 Preparation	インタビュー対象者の勤務先、仕事内容を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	本日のワークの自己評価を行う	120	分
No11	キャリアインタビュー実践	卒業生にキャリアインタビューを実践する		
	【予習内容】 Preparation	卒業生へのキャリアインタビューで心掛けることを考える	120	分
	【復習内容】 Review	インタビューレポートを作成する	120	分
No12	キャリアインタビュー振り返り②	前回のキャリアインタビューを振り返り、社会人に必要な力を考える		
	【予習内容】 Preparation	インタビューレポートを確認する	120	分
	【復習内容】 Review	本日のグループワークの自己評価を行う	120	分

	No13	自己理解②	ワークを通して自分の価値観を知る		
		【予習内容】 Preparation	自分の好きな事、気になる事を考える	120	分
		【復習内容】 Review	本日のワークの自己評価を行う	120	分
	No14	キャリアプランニング	将来の目標を達成するための行動計画を考える		
		【予習内容】 Preparation	将来の目標を考える	120	分
		【復習内容】 Review	本日のワークシートを仕上げる	120	分

【その他の注意事項】 Others	特になし				
	【週】 Week	【テーマ】 Theme	【学習内容】 Study Contents		
		オリエンテーション	概要（授業目標、内容、評価方法）説明		
	No1				
		【予習内容】 Preparation	シラバスを確認する	120	分
		【復習内容】 Review	授業目標、内容、評価方法を再度見直し確認する	120	分
	No2	キャリアの理解①	映像・記事を通して社会人のキャリアを考え、理解する		
		【予習内容】 Preparation	授業で学習する社会人について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	本日のグループワークの自己評価を行う	120	分
	No3	キャリアの理解②	映像・記事を通して社会人のキャリアを考え、理解する		
		【予習内容】 Preparation	授業で学習する社会人について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	本日のグループワークの自己評価を行う	120	分
	No4	キャリアの理解③	映像・記事を通して社会人のキャリアを考え、理解する		
		【予習内容】 Preparation	興味がある職業について調べる	120	分
		【復習内容】 Review	本日のグループワークの自己評価を行う	120	分
	No5	インタビュー体験①	インタビューの体験を通して傾聴手法を理解する		
		【予習内容】 Preparation	インタビューに必要なことを考える	120	分
		【復習内容】 Review	本日のインタビューの自己評価を行う	120	分
No6	インタビュー体験②	インタビューの体験を通して傾聴手法を理解する			
	【予習内容】 Preparation	前回インタビューの改善点を考える	120	分	
	【復習内容】 Review	本日のインタビューの自己評価を行う	120	分	

【授業計画】
Course Schedule

No7	キャリアインタビュー準備①	質問の検討、インタビューの練習をする		
	【予習内容】 Preparation	インタビュー対象者を検討する	120	分
	【復習内容】 Review	インタビューの準備、実践、レポート作成を行う	120	分
	自己理解①	ワークを通して自分の価値観を知る		
	【予習内容】 Preparation	自分のこれまでの人生を振り返り、印象に残った出来事を思い出す	120	分
	【復習内容】 Review	本日のペアワークの自己評価を行う	120	分
	キャリアインタビュー振り返り①	各自が実践してきたキャリアインタビューを共有し、振り返る		
	【予習内容】 Preparation	キャリアインタビュー振り返りの準備を行う	120	分
	【復習内容】 Review	インタビュー対象者に報告する	120	分
	キャリアインタビュー準備②	インタビュー対象者の勤務先、仕事内容など必要な情報を確認、インタビューの練習をする		
	【予習内容】 Preparation	インタビュー対象者の勤務先、仕事内容を調べる	120	分
	【復習内容】 Review	本日のワークの自己評価を行う	120	分
No11	キャリアインタビュー実践	卒業生にキャリアインタビューを実践する		
	【予習内容】 Preparation	卒業生へのキャリアインタビューで心掛けることを考える	120	分
	【復習内容】 Review	インタビューレポートを作成する	120	分
No12	キャリアインタビュー振り返り②	前回のキャリアインタビューを振り返り、社会人に必要な力を考える		
	【予習内容】 Preparation	インタビューレポートを確認する	120	分
	【復習内容】 Review	本日のグループワークの自己評価を行う	120	分

	No13	自己理解②	ワークを通して自分の価値観を知る		
		【予習内容】 Preparation	自分の好きな事、気になる事を考える	120	分
		【復習内容】 Review	本日のワークの自己評価を行う	120	分
	No14	キャリアプランニング	将来の目標を達成するための行動計画を考える		
		【予習内容】 Preparation	将来の目標を考える	120	分
		【復習内容】 Review	本日のワークシートを仕上げる	120	分